

平成16年度

帯広市一般・特別会計

主要な施策の成果

第 1 章 安心安全都市

第1節 保健・医療

1. 保健予防活動の充実

(1) 市民の健康づくり

老人・身体障害者等に対する各種の福祉サービス及び市民に対する保健サービスの提供を行った。

- ・総合福祉センター利用状況

区分	保健	老人	身体障害者	母子	一般	市機関	合計
件数(件)	1,023	1,659	459	283	177	45	3,646
人員(人)	41,263	80,129	7,349	5,383	3,861	2,690	140,675

【保健福祉部 保健課】

(2) 感染症などの予防

予防接種実施状況

	ジフテリア・百日咳・破傷風	ジフテリア・破傷風	急性灰白髄炎(ポリオ)	風しん	麻しん
接種者数(人)	5,473	884	2,950	1,364	1,423

結核検診実施状況

	ツ反接種	B C G接種	間接撮影
受診者数(人)	1,697	1,610	5,718

インフルエンザ予防接種実施状況

- ・中学3年生、高校3年生 接種人数 2,584人
- ・高齢者(65歳以上対象) 接種人数 13,715人

【保健福祉部 保健課】

(3) 健康管理情報システムの充実

窓口業務における的確・迅速な相談に資するため、福祉サービスの利用情報などを共有する情報システムを整備した。

【保健福祉部 健康生活支援システム課】

2. 成人保健活動の充実

(1) 生活習慣病の予防

健康教育実施状況

区分	婦人会	老人クラブ	町内会	職域・その他	健康講座など	合計
回数(回)	4	53	10	34	47	148
人数(人)	105	1,366	330	1,772	995	4,568

個別健康教育(高脂血症・高血圧・糖尿病・禁煙)

- ・実参加者数 50人 延参加者数 430人

健康相談実施状況

- ・実施回数 18回 利用者数 153人

検診実施状況

区 分		検診日数	受診者数
胃 がん 検 診		103日	5,145人
子 宮 がん 検 診	集 団	24日	1,570人
	施 設	12ヶ月	3,865人
乳 がん 検 診	集 団	11日	974人(うちマンモグラフィ523人)
	施 設	12ヶ月	2,602人
前立腺がん検診	集 団	103日	1,719人
	施 設	12ヶ月	38人
肺 がん 検 診		103日	5,465人
大 腸 がん 検 診		103日	5,068人
基 本 健 康 診 査	集 団	103日	5,825人
	施 設	12ヶ月	3,556人
肝 炎 検 査	集 団	103日	869人
	施 設	12ヶ月	97人
市 民 健 康 診 査	集 団	103日	219人
	施 設	12ヶ月	117人
骨粗しょう症検診	集 団	20回	267人

【保健福祉部 保健課】

(2) 寝たきり・認知症の予防

訪問指導事業

・訪問指導実施状況

区分	健康診査の要指導者等	閉じこもり予防	介護家族者	寝たきり者	認知症老人	その他	合 計
実訪問者数(人)	37	47	48	6	5	11	154
延訪問者数(人)	39	146	179	15	12	30	421

機能訓練事業

・実施回数 153回 実参加者数 90人 延参加者数 4,061人

介護予防個別評価事業

・実施回数 24回 実参加者数 27人 延参加者数 357人

いきいき温泉事業

・実施回数 90回 実参加者数 60人 延参加者数 742人

【保健福祉部 保健課】

(3) 精神保健対策の充実

通所授産施設運営費補助 1件
 障害者地域生活支援事業補助 1件
 共同作業所運営費補助 5件
 回復者クラブ活動事業委託 4件
 共同住居運営費補助 11件
 施設通所交通費助成 延 7,281人

【保健福祉部 障害福祉課】

(4) 難病対策の充実

エキノコックス症検査実施状況

区 分	一般市民	児童・生徒
血清検査(人)	42	3

【保健福祉部 保健課】

3. 母子保健活動の充実

(1) 妊産婦及び乳幼児の健康

乳幼児健康診査

区 分	対象数(人)	受診数(人)	受診率(%)	有所見数(人)	有所見率(%)
	A	B	B / A	C	C / B
4 ヶ 月 児	1,497	1,318	88.0	86	6.5
7 ヶ 月 児	1,490	1,344	90.2	86	6.4
1 歳 6 ヶ 月 児	1,533	1,447	94.4	289	20.0
2 歳 児(健康相談)	123	84	68.3	-	-
3 歳 児	1,601	1,448	90.4	220	15.2

妊婦一般健康診査	受診者数	前期	1,449人	後期	1,340人
超音波検査	受診者数		176人		
幼児歯科健診	受診者数		3,766人		

【保健福祉部 保健課】

(2) 乳幼児医療費の助成

少子化問題に係る子育て支援の一環として、0歳児から6歳児までの医療費負担を軽減するため、個人負担分の一部又は全部を助成した。また、平成16年10月より6歳就学前までに助成範囲の拡大を図った。

- ・ 乳幼児医療費助成件数 151,621件
- ・ 対象者数 8,880人

【市民部 国保課】

(3) 相談活動の充実

母性相談室	利用者数	2,909人		
ほんわかファミリー教室	参加者数	781人		
うまれてくる赤ちゃんのためのパパママあんしん相談	紹介者数	38人	相談者数	37人
すくすく教室	参加者数	366組		
母子訪問指導員による新生児、産婦訪問指導	実施件数	462件		
すこやか親子の元気ひろば	利用者数	乳幼児 3,795人	保護者	3,387人
すこやか親子教室	利用者数	989組		
家庭訪問				

区 分	妊産婦	新生児	乳 児	幼 児
訪問件数(件)	332	315	45	432

性の相談事業

・性の電話相談 専任相談員 1人配置 相談件数 734人
【保健福祉部 保健課】

4. 地域保健医療体制の充実

(1) 医療機能の充実

医療施設設備整備補助金 1件
【保健福祉部 保健課】

(2) 救急医療体制の充実

休日、夜間における急病診療体制

- ・一次救急

区 分	内 容	利用人員(人)		
		市内民	市外民	計
夜間急病センター	年中 午後9:00～翌午前8:00	3,192	1,167	4,359
在宅当番医制	夜間 午後7:00～ 午後9:00	2,876	775	3,651
	休日 午前9:00～ 午後5:00 日曜	8,626	4,074	12,700
休日歯科在宅診療	休日 午前9:00～ 午後4:00 日曜	453	331	784
合 計		15,147	6,347	21,494

- ・二次救急

区 分	厚生病院	協会病院	第一病院	合 計
待機日数(日)	144	145	146	435
患者数(人)	1,182	772	735	2,689

患者数は市民のみ

休日、夜間における一次救急医療機関の案内

- ・帯広市急病テレホンセンター設置(平成16年5月開始)

音声テープ案内	職員対応	合計
3,090件	2,782件	5,872件

職員対応の件数は市民のみ

【保健福祉部 保健課】

第2節 地域福祉活動

1. 地域福祉活動の充実

(1) 福祉団体の充実

地域福祉活動の中心的役割を担っている社会福祉協議会や民間福祉団体への支援を行った。

- ・社会福祉協議会が実施した地域福祉振興事業(ボランティア育成事業、地域福祉活動事業)に対する補助等

【保健福祉部 社会課】

第3節 高齢者福祉

1. 高齢者の生きがいづくり

(1) 社会参加機会の拡充

○高齢者が健康でいきいきと暮らすことができるよう、スポーツ・レクリエーションや学習活動など、様々な交流・参加機会の拡充に努めた。

・第33回帯広市高齢者スポーツ大会	参加者数	1,900人
・高齢者バス無料券交付	交付対象者数(70歳以上)	22,324人
	バス券受領者数	15,791人

【保健福祉部 高齢者福祉課】

(2) 生きがいづくり

○高齢者が生きがいをもって積極的に地域活動に参加できるよう、老人クラブなどの自主的活動を支援するとともに、活動の場づくりを進めた。

・老人クラブ育成事業	216クラブ	12,975人
・老人専用バス貸出	102回	2,787人
・地区敬老会の開催	32会場	
・敬老祝金支給事業	受領者数	
	77歳(喜寿)	1,211人
	88歳(米寿)	315人
	99歳(白寿)	14人
	100歳以上	42人

【保健福祉部 高齢者福祉課】

2. 在宅サービスの充実

(1) 在宅サービスの充実

○介護を必要とする高齢者が在宅で安心して暮らすことができるよう、ホームヘルプサービスやデイサービス、配食サービスなど各種サービスの充実を図った。

・ホームヘルパー派遣	857時間/年	実利用者数	33人
・デイサービス	1,353回/年	実利用者数	60人
・通所入浴	179回/年	実利用者数	8人
・配食サービス	58,285食/年	実利用者数	475人
・家族介護用品支給	1,531件/年	対象者数	177人
・独居老人訪問活動	387,491回/年	実利用者数	1,606人
・高齢者在宅生活援助サービス	494回/年	実利用者数	87人
・ねたきり老人等寝具類クリーニング	324件/年	実利用者数	196人
・ねたきり老人等理美容サービス	654件/年	実利用者数	148人
・家族介護リフレッシュ	8回/年	参加者数	143人
・介護予防教室	26回/年	参加者数	746人

【保健福祉部 高齢者福祉課】

○旧市立病院敷地において、医療やデイサービスなどの介護サービス等を提供する「診療所・小規模多機能ケア施設」の整備に対し補助を行った。

【保健福祉部 健康生活支援システム課】

(2) 緊急対策の充実

○一人暮らしの高齢者が安心して生活できるよう、高齢者緊急通報システムを充実した。

- ・緊急通報システム 設置数 800台

【保健福祉部 高齢者福祉課】

(3) 介護支援機能の整備

○高齢者に対する在宅介護支援センターの整備を促進した。

- ・在宅介護支援センター(9ヶ所) 相談件数 14,085件

【保健福祉部 介護保険課】

3. 施設サービスの充実

(1) ケアハウスなどの整備

自宅で生活することが困難な高齢者が、各種在宅サービスを利用して自立した生活を継続できるよう、生活支援ハウス(旧高齢者生活福祉センター)の整備を促進した。

- ・生活支援ハウス 2ヶ所

【保健福祉部 介護保険課】

4. 老人医療費の助成

高齢者福祉の一環として、65歳から69歳までの高齢者のうち、低所得者の医療費個人負担分の一部を助成した。

- ・老人医療費助成件数 9,841件
- ・対象者数 374人

【市民部 国保課】

第4節 障害者福祉

1. ノーマライゼーション(正しい障害者観)の定着

(1) 意識の啓発

帯広駅内公共スペースの「福祉のひろば」を活用し、障害者の作成した作品等の展示・即売会や福祉機器の展示会を開催することにより、障害者の交流の機会を拡大するとともに、障害者への理解を深めた。

【保健福祉部 障害福祉課】

(2) ノーマライゼーション推進地区の拡大

前年度に引き続き、大正地区、大空・帯広の森地区、東部地区、西帯広地区を指定した。各地区においては、ノーマライゼーション理念の普及啓発をはじめ、ふれあい交流事業や研修事業等各種事業が行われた。

【保健福祉部 障害福祉課】

2. 社会参加の促進

(1) 社会参加の促進

心身障害児水泳教室

- ・帯広の森市民プール 5月13日~7月29日 毎週木曜日 12回開催 受講生 43人
- 社会学級(視覚、聴覚障害者を対象に実施) 6講座開催 延参加者数 89人

第1章 安心安全都市

ハンディキャップスキー講習会			
・メムロスキー場	1月13日～14日	受講者数	19人
知的障害者スポーツ教室			
・地域交流ホーム	22回開催	延参加者数	225人
リフト付福祉バス運行事業			
・福祉団体利用分	44件		
・デイサービス利用分	3,555人		
聴覚障害者共同利用ファックス設置	6ヶ所		
手話講習会	30回開催	延参加者数	735人
要約筆記講習会	10回開催	延参加者数	108人
点字講習会	9回開催	延参加者数	75人
音訳・校正ボランティア養成講座	10回開催	延参加者数	131人

【保健福祉部 障害福祉課】

3. 福祉サービスの充実

(1) 予防・早期発見・早期療育体制の充実

幼児ことばの教室	通室児童数	81人
心身障害児通園事業	通園児童数	327人
心身障害児早期療育事業	通室児童数	31人

【保健福祉部 障害福祉課】

(2) 社会適応訓練などの充実

中途視覚障害者リハビリテーション事業	延利用者数	50人
在宅障害者各種創作活動等の教室(5教室)	200回開催	延参加者数 2,400人

【保健福祉部 障害福祉課】

(3) 在宅サービスの充実

身体障害者送迎事業	実利用者数	445人
心身障害者(児)通所施設等交通費助成	実利用者数	181人
重度身体障害者タクシー料金助成	実利用者数	1,604人
ホームヘルプサービス	実利用者数	188人 延60,628時間
視覚障害者ガイドヘルプサービス	実利用者数	21人 延2,574時間
手話通訳者派遣	派遣件数	148件
要約筆記通訳者派遣	派遣件数	72件
在宅重度身体障害者緊急通報システム	設置数	70台
身体障害者入浴サービス	延利用者数	376人
身体障害者短期入所	延利用者数	5人
重度心身障害者理美容サービス	延利用者数	254人
重度心身障害者クリーニングサービス	延利用者数	64人
補装具等の交付・修理		2,791件
日常生活用具の給付		112件
福祉車両(タクシー)更新等補助		1台

【保健福祉部 障害福祉課】

(4) 相談体制の充実

相談体制 総合相談員外7人 相談件数 7,033件
【保健福祉部 障害福祉課】

(5) その他

身体障害者手帳交付状況 交付者数 6,776人
療育手帳交付状況 交付者数 1,068人
特別障害者手当等支給 延受給者数 2,819人
更生医療の給付 417件
身体障害者施設訓練等支援
・入所 延対象者数 795人
・通所 延対象者数 58人
知的障害者施設訓練等支援
・入所 延対象者数 2,928人
・通所 延対象者数 1,563人
・通勤寮 延対象者数 380人
・グループホーム 延対象者数 262人
重度心身障害者医療費特別給付 延受診者数 78,571人
【保健福祉部 障害福祉課】

第5節 児童福祉

1. 保育施設の整備

(1) 保育所の整備

南保育所ほか6保育所の改修を行った。

すずらん保育所移転改築事業 地耐力調査、実施設計

児童福祉施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(ヶ所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
常設保育所	26	2,490	2,603
へき地保育所	7	375	181
計	33	2,865	2,784

【保健福祉部 児童家庭課】

2. 保育サービスの充実

(1) 低年齢児・障害児保育の充実

乳児保育 帯広保育所外21所 月平均入所児童数 99人
森の子保育園の事業参入により12人枠拡大を図った。

障害児保育 緑ヶ丘保育所外25所 入所児童数 90人

病後児保育 森の子保育園 利用児童数 6人

【保健福祉部 児童家庭課】

(2) 延長保育・休日保育などの充実

延長保育 帯広保育所外16所 日平均利用児童数 130人
 森の子保育園の事業参入により利用児童数の拡大を図った。
 休日保育 すずらん保育所 日平均利用児童数 5人

【保健福祉部 児童家庭課】

(3) 共同保育所などへの支援

共同保育所 ゆりかご共同保育所外6所

【保健福祉部 児童家庭課】

3. 総合的な子育て支援

(1) 子育て支援体制の充実

森の子保育園における市内4ヶ所目となる地域子育て支援施設の開設。

こでまり保育所における一時保育の実施 延利用者数 2,440人
 絵本との出会い事業 総合福祉センター等において、生後7ヶ月の乳幼児に絵本を配布。
 配布児童数 702人

子育て支援短期利用事業の実施(十勝学園)

延利用日数 48日 実利用者数 9人

第3子以降の保育料無料化 対象児童数 34人

児童手当 受給対象児童数 9,414件

児童扶養手当 受給対象者数 2,349件

特別児童扶養手当 受給対象者数 327件

助産施設入所措置援護

児童福祉法第22条による助産施設

帯広協会病院、帯広厚生病院 措置件数 10件

【保健福祉部 児童家庭課】

(2) 放課後児童対策の充実

児童保育センターにおける障害児受入枠を2人分拡大した。

施設数及び入所児童数

施設区分	施設数(ヶ所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
児童保育センター	22	1,155	1,027

【保健福祉部 児童家庭課】

4. 母子・父子福祉の充実

(1) 相談体制の充実

母子家庭等に対する各種の相談活動を行った。

・家庭児童相談室 相談員 2人配置 相談件数 130件
 ・母子相談 母子自立支援員 1人配置 相談件数 504件
 ・女性相談 相談員 1人配置 相談件数 344件

母子家庭等日常生活支援

・母子・父子家庭へ家庭生活支援員の派遣を行った。

家事支援 3人 延日数 30日 延時間数 127時間

自立支援教育訓練給付金

- ・母子家庭の母に、就職用教育訓練講座受講費用の一部を助成した。

ホームヘルパー講座 12人 介護福祉講座 1人 訪問看護師講座 5人

ひとり親家庭等医療費給付事業

- ・母子家庭に加え、平成16年10月から父子家庭に対する医療費の助成を開始するとともに、医療費の1割自己負担を導入した。

給付件数 60,112件(内父子家庭 父 40件、子 60件)

【保健福祉部 児童家庭課】

第6節 アイヌの人たちの福祉

1. アイヌ民族・文化への理解促進

(1) 民族・文化への理解促進

「国際先住民の日」(8月9日)にちなんだ記念事業としてアイヌ文化展を開催し、アイヌ民族・文化への理解促進に努めた。

- ・開催日時 8月3日～5日
- ・開催会場 帯広市役所1階市民ホール
- ・内 容 民具・手工芸品・パネルの展示、アイヌ文化体験コーナー、啓発資料の配付

【保健福祉部 社会課】

2. 生活・教育環境の整備

(1) 生活環境の整備

アイヌ生活相談員により、アイヌの人たちの生活、健康等についての指導・援助を行った。

- ・相談件数 125件
- ・相談内容 生活(38件)、健康(7件)、教育(11件)、その他(69件)

【保健福祉部 社会課】

(2) 交流活動の促進

アイヌの人たちの活動拠点である生活館の管理・運営を行い、地域交流の推進を図った。

- ・生活館利用状況
延利用件数 818件 延利用者数 8,038人
主な利用内容 アイヌ語教室、アイヌ刺しゅう教室、帯広カムイトウウポポ保存会等

【保健福祉部 社会課】

第7節 社会保障

1. 国民健康保険の運営

(1) 被保険者の負担軽減

医療分保険料について、一世帯当りの限度額を法定限度額の5.3万円とし、一般会計繰入により保険料の引き上げを約1%に抑制した。

第1章 安心安全都市

減免制度について、65歳以上の高齢者等優遇から、法定軽減世帯を対象とする低所得世帯を中心に見直しを行った。

- ・減免世帯数 1,993世帯
- ・減免額 49,610千円

【市民部 国保課】

(2) 保健事業の推進

市民を対象とした生活習慣病対策としての検診を受診する国民健康保険被保険者に対して検診料の自己負担分全額を助成した。

	胃がん 検診	肺がん 検診	大腸がん 検診	子宮がん 検診	乳がん 検診	基本健康 診査	肝臓 検査	炎症 検査	骨粗しょう 症検診	前立腺 がん検診	計
集団(人)	2,178	2,589	2,212	685	417	2,625	433	-	729	11,868	
施設(人)	-	-	-	808	618	1,341	51	184	6	3,008	
合計	2,178	2,589	2,212	1,493	1,035	3,966	484	184	735	14,876	

国民健康保険被保険者を対象とした日帰り人間ドックを実施し、検診料の一部を助成した。

- ・受診者数 183人
- ・検診料の一部助成 1人当り 36,750円の内31,750円

国民健康保険被保険者を対象とした脳ドックを実施し、検診料の一部を助成した。

また、助成枠を100人拡大した。

- ・受診者数 388人
- ・検診料の一部助成 1人当り 20,000円の内15,000円

国民健康保険被保険者を対象とした歯科ドックを実施し、検診料の全額を助成した。

- ・受診者数 446人
- ・検診料の助成 1人当り 3,150円

健康器具による骨健康度チェック、足の裏健康チェックを行った。

- ・健康まつりにおける受診者数 523人(骨258人、足の裏265人)
- ・国保パネル展における受診者数 528人(骨254人、足の裏274人)

【市民部 国保課】

2. 介護保険制度の運営

(1) 介護保険制度の運営

被保険者数(3月末現在)

世帯数				被保険者数			
総世帯数 (世帯)	第1号被 保険者世 帯数 (世帯)	第1号被保 険者世帯 数 対前年比	総世帯数 に占める 第1号被保 険者世帯 数の割合	総人口 (人)	第1号被 保険者数 (人)	第1号被 保険者数 対前年比	総人口に占 める第1号被 保険者数の 割合
77,247	22,438	103.4%	29.0%	170,907	31,360	103.7%	18.3%

要介護認定状況(3月末現在)

区分	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者(人)	705	2,000	717	561	564	600	5,147
第2号被保険者(人)	7	83	42	27	14	26	199
総数	712	2,083	759	588	578	626	5,346

第1章 安心安全都市

サービスの利用状況（延人数）

区分	居宅介護サービス	施設介護サービス				合計
		介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	小計	
第1号被保険者（人）	33,924	4,295	3,894	3,063	11,252	45,176
第2号被保険者（人）	1,176	28	86	125	239	1,415
総数	35,100	4,323	3,980	3,188	11,491	46,591

介護保険料軽減の状況（帯広市独自軽減分）

人数	軽減額	軽減前の額	軽減後の額	軽減率
954人	11,109,910円	28,816,430円	17,706,520円	38.55%

世帯一人当りの収入が、老齢福祉年金相当額以下

所得段階	基準	人数	保険料	軽減額	軽減後の額
第1段階	生活保護受給者を除く老齢福祉年金受給者のうち、世帯一人当りの収入が老齢福祉年金相当額以下の場合	21人	20,760円	10,380円	10,380円
第2段階	世帯一人当りの収入が老齢福祉年金相当額以下の場合	141人	31,140円	20,760円	10,380円
第3段階		5人	41,520円	31,140円	10,380円

生活保護基準なみの世帯

所得段階	基準	人数	保険料	軽減額	軽減後の額
第2段階	単身世帯で前年収入130万円以下の場合。ただし、世帯員が一人増えるごとに60万円を加算する。	783人	31,140円	10,380円	20,760円
第3段階		4人	41,520円	20,760円	20,760円

【保健福祉部 介護保険課】

3. 生活の援護

(1) 自立の支援

保護区分	人員又は世帯数	保護区分	人員又は世帯数
生活扶助	延 37,930人	生業扶助	12人
住宅扶助	延 35,208人	葬祭扶助	23人
教育扶助	延 3,629人	冬季薪炭費	延 8,707人
介護扶助	延 4,335人	施設事務費	延 427人
医療扶助	延 32,556人		
月平均世帯数	2,364世帯		
月平均人員	3,315人		
月平均支出額	474,159千円		

【保健福祉部 保護課】

第8節 墓園

1. 墓園の整備

(1) 墓園の整備

中島霊園整備事業

・造成 6㎡ 150区画

・貸付	4 m ²	80 区画	
	6 m ²	39 区画	
	8 m ²	24 区画	
	12 m ²	4 区画	
	16 m ²	3 区画	合計 150 区画

【市民部 市民課】

第9節 防災・消防

1. 防災意識づくり

(1) 防災意識づくり

防災グッズ展

災害時に備えた非常持出品、家庭での備蓄品を展示して防災意識の啓発を図った。

- ・実施日時 1月17日～19日
- ・実施場所 庁舎市民ホール

【総務部 庶務課】

2. 防災体制の充実

(1) 災害時の体制強化

地域防災訓練

防災関係機関及び地域住民が参加し、初期消火、避難訓練等の住民体験型の訓練を行い災害時の体制強化を図った。

- ・実施日時 9月5日
- ・実施場所 光南小学校

【総務部 庶務課】

(2) 自主防災組織づくり

住民の防災意識普及と災害時の相互協力体制を構築するために、自主防災組織の育成を図った。

- ・自主防災組織 1組織（啓北連合町内会）

【総務部 庶務課】

3. 救急救命体制の充実

(1) 救急救命体制の充実

救急救命士資格者の養成	1人
救急隊員（標準課程）の養成	6人

【消防本部 警防課】

(2) 応急知識の普及

応急手当に関する講習会の実施

区 分	回数(回)	受講者数(人)
応急手当指導員講習	1	8
普通救命講習	9	213
一般救急講習	81	2,852
合 計	91	3,073

【消防本部 警防課】

4. 消防体制の充実

(1) 消防体制の充実

防火衣の更新 54着

【消防本部 総務課】

消火栓整備事業 新設 3基

更新 3基

防火水槽整備事業 新設 1基

【消防本部 警防課】

5. 防火安全対策の推進

(1) 自主防火の促進

自主防火の取組状況

区 分	実施回数(回)	参加者数(人)
避難訓練	534	48,692
消火訓練	406	25,844
防火映画会	55	5,018
講話・講習会	182	26,238
合 計	1,177	105,792

【消防本部 予防課】

(2) 防火意識の普及

高齢者や障害者など災害弱者に対する訪問指導 859世帯

市民防災フェスティバル 参加者数 1,500人

【消防本部 予防課】

(3) 防火クラブの育成

幼年消防クラブ結成 4クラブ

【消防本部 予防課】

第10節 交通安全

1. 交通安全思想の普及徹底

(1) 交通安全教育の推進

高齢者・子どもなど交通弱者を重点に各種交通安全教室並びに研修会を開催し、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に努めた。

区 分	件数(件)	参加者数(人)	区 分	件数(件)	参加者数(人)
幼稚園・保育所	51	4,333	特殊学校	9	407
小学校	91	14,352	各種イベント	9	1,499
町内会	2	121	学童保育センター	39	2,103
老人会	18	545	その他	4	596
合 計	223 件		23,956 人		

第1章 安心安全都市

死亡事故の割合が増えている高齢者を対象にしたドライビング体験会や老人クラブ交通安全推進委員研修会等の実施により、高齢者の交通安全意識の高揚に努めた。

市街地の小学校校下に配置している交通指導員の活用により、児童の安全指導と交通事故抑止に努めた。

【市民部 交通安全課】

(2) 交通安全運動の推進

交通安全思想の普及と安全意識の向上を目指し、帯広市と帯広市交通安全推進委員連絡協議会及び警察等、関係機関・団体が相互に連携を図り、4期40日(春・夏・秋・冬、各期10日)の交通安全運動期間を中心として地域ぐるみの交通安全運動を推進した。

【市民部 交通安全課】

2. 交通安全環境の整備

(1) 交通安全施設の整備

歩道新設

路線名	施工箇所	延長(m)	幅員(m)
柏林台・1号線	柏林台中町1、5丁目	258.41	10.25~14.00
柏林台・2号線	柏林台中町5丁目、西町5丁目	106.63	11.00~14.00
柏林台・6号線	柏林台東町3丁目	80.25	9.00
旧広尾道路甲線	愛国2号~5号	1,949.60	1.50
川西・稲田西2線線	稲田町西2線~川西町西2線	調査	

【建設部 土木課】

区画線設置	114,900m
視線誘導標識設置	126基
道路照明灯設置	8基

【建設部 道路維持課】

第11節 防犯

1. 街路灯の充実

(1) 街路灯の充実

町内会が実施する街路灯新設に対し助成を行うとともに電気料に対する補助を行った。

- ・街路灯新設助成 85灯

【企画部 住民活動課】

第12節 消費生活

1. 消費者の保護

(1) 消費者の保護

自立した消費者の育成や被害の未然防止を図るため、講演会、消費生活展の開催、予防教育等を行った。

・消費者講座の開催	5回	受講者数	376人
・消費者講演会の開催	2回	受講者数	182人
・地域消費者講座の開催	10回	受講者数	430人

第1章 安心安全都市

・消費生活展の開催	入場者数	2,824人
・消費者ニュース「みんなの暮らし」の発行	年4回	4,800部/年
・消費者被害予防教育の実施（高校3年生及び各種高校生）	8校 21回	1,901人
・十勝消費者大会への参加		38人
・消費者被害予防の啓発（広報おびひろに掲載）		7回

【商工観光部 労働消費課】

(2) 消費情報の提供

消費生活モニターや北のくらし情報システム等により、消費者に的確な情報を提供した。

・消費生活情報地域ネットワークシステムの運用		
・消費生活モニターの配置		12人
・消費生活モニターの研修会		年2回実施
・生活必需品の小売価格調査	33品目 毎月10日調査	
	3品目 年2回調査	
・年未年始の物価対策	生鮮食品の安定供給と価格抑制を市場関係者に要請	
	正月用食品の小売価格調査	9品目 2回調査
	原産地表示調査	2回調査

【商工観光部 労働消費課】

(3) 消費生活アドバイスセンターの充実

消費生活に関する相談業務が複雑・高度化していることから、専門相談員を適正配置することにより、迅速かつ的確な対応を図った。

・消費者からの相談		4,424件
・くらしの展示室の運営	利用者数	9,660人
・テレホンサービスの実施		1,439件

【商工観光部 労働消費課】

2. 公正取引の促進

(1) 計量の適正化

民間計量士による代検査を推進し、行政は立入検査に力点を置いた計量指導体制づくりを進めた。

・定期検査の実施	受検戸数	257戸	検査個数	732個
・立入検査の実施	商品量目	28戸		3,658個

【商工観光部 労働消費課】

(2) 適正な事業活動の促進

事業者に対する消費者保護関係法令等の的確な情報の提供を行うとともに、消費者ニーズの意見が反映されるよう啓発活動を行った。

・（社）帯広消費者協会の育成・支援				
・消費者保護審議会、苦情処理部会の開催				
・消費生活用製品安全法による立入検査	調査店舗数	14店舗	違法件数	0件
・家庭用品品質表示法による立入検査	総検査件数	145件	不適正	0件

【商工観光部 労働消費課】

第 2 章 産業複合都市

第1節 産業間連携

1. 十勝型産業クラスターの形成

(1) 産業クラスターの形成

帯広市の地域特性を踏まえ、地域のあらゆる人材・技術力・資源を有機的に結びつけ「モノづくり」を基本とした地域産業の振興が重要であることから、「帯広産業クラスター研究会」の研究開発事業を支援するとともに、その事業化・商品化への熟度が高いものに対して推進モデル事業として支援した。

また、地場の産業における競争力、技術力のレベルアップのため、中小企業等が行う新製品・新技術等の研究開発やデザイン開発などの取組を支援した。

- ・クラスター研究会研究開発テーマ 3件
- ・クラスター研究開発推進モデル事業 2件
- ・地場産業振興補助金 4件

【商工観光部 工業課】

2. 広域的な産業振興のしくみ

(1) 広域的な産業振興のしくみ

十勝圏の基幹産業である農業を核としながら、地域産業の総合的な振興と活力ある地域社会の形成に資するとともに、産学官の連携と産業間や異業種の交流を促進し、広域的なネットワーク化を進めるため、(財)十勝圏振興機構への支援を行った。

【商工観光部 工業課】

第2節 農林業

1. 生産基盤の整備

(1) 生産基盤の整備

国営土地改良事業

区分	地区名	本年度施工事業量	進捗率	計画期間
総合かんがい排水事業	札内川第一	用水路 56,360m	87.07%	平成2年～平成18年
	札内川第二	用水路 19,460m ファームント 1ヶ所	44.46%	平成8年～平成23年

道営担い手育成畑地帯総合整備事業

地区名	本年度施工事業量	進捗率	計画期間	
帯広東	農道整備(改良)	790m	95.92%	平成2年～平成18年
	農道整備(舗装)	245m		
	明渠排水	879m		
帯広中央	農道整備(改良)	572m	89.11%	平成3年～平成18年
	農道整備(舗装)	536m		
	明渠排水	7,490m		
	土層改良	109ha		
	暗渠排水	27ha		

第2章 産業複合都市

帯広西	農道整備(改良)	814m	87.94%	平成4年～平成18年
	農道整備(舗装)	2,155m		
	明渠排水	2,688m		
帯広北	農道整備(舗装)	1,317m	99.41%	平成5年～平成16年
	明渠排水	1,563m		

道営担い手支援(営農用水)畑地帯総合整備事業

地区名	本年度施工事業量	進捗率	計画期間
大正	配水池	2池	平成14年～平成18年
	配水管	7,306m	
	送水管	3,782m	

ふるさと農道整備事業

路線名	施工箇所	延長(m)	幅員(m)
桜木14号	桜木町東2～3線	544	6.0

【農務部 農村整備課】

(2) 農地の集団化、流動化の促進

交換分合事業

- ・上清川地区(最終年次)400ha 土地調査、計画案作成、事業認可、登記
- ・上帯広地区(1年次目)300ha 地区調査

【農業委員会事務局 農地課】

(3) 八千代公共育成牧場の整備

牧場の機能強化を図るため、草地の整備改良等を実施した。

- ・草地改良整備 21.8ha 道路改良 190m

【農務部 営農課】

(4) 農業支援のしくみづくり

自給飼料の安定生産、作業の効率化を図るために、不耕起栽培作業機械導入補助を行った。

- ・プラソイラー、パワーハロー、チゼルディスク 各1台

【農務部 営農課】

(5) 経営の安定

農林業育成資金貸付金の充実

・地域農業後継者の確保育成、農業振興・地域活性化及び安全で安心な農畜産物の生産振興を推進するため資金の貸付を行った。

貸付実績 10件 総額111,180千円
(内安全・安心関連資金 1件 40,000千円)

【農務部 営農課】

2. 良質な食糧生産の推進

(1) 農業技術支援体制の充実

生産技術の向上を図るため新技術に関するグループ研究に対して一部助成を行い、その成果を地域農業者に普及させた。

- ・研究グループ数 6件（新技術部門5件、グループ活動部門1件）

【農務部 営農課】

(2) 生産支援対策の推進

川西地区において、農産物の高生産安定生産を目指し、より一層の地力増進と施設の整備、農業用機械の導入とともに、小麦、馬鈴薯等の技術講習会を開催した。

- ・石礫除去 25.99ha
- ・豆用コンバイン 7台
- ・長いも洗浄選別施設の整備拡充
- ・小袋豆製造ラインの増設

大正地区において、馬鈴薯病害虫の蔓延を防ぎ、終了低下を防止するための施設整備を実施するとともに、小麦、馬鈴薯の技術講習会を開催した。

- ・病害虫防除施設の新設

【農務部 農林課】

国際環境の変化に対応した新たな輪作体系の検討を図るため、デントコーン、てん菜、春ライ小麦等のエネルギー作物の栽培等に関する現地実証試験を行った。

- ・現地試験ほ 22.2ha 農業技術センター試験ほ 0.3ha

【農務部 営農課】

(3) 食の安全・安心対策

「食」の安全・安心推進プランの推進

- ・長いものトレーサビリティ導入補助を実施
- ・農畜産物安全・安心推進センター活動を実施
- ・農薬事故マニュアルなど生産者へのサポート及び啓蒙活動を実施
- ・ジャガイモシストセンチュウ防疫対策への補助を実施
- ・良質な生乳生産に資する畜舎清掃運動への支援を実施
- ・「食」の講習会を開催
- ・学校給食への地場産小麦導入に向けた取組を実施
- ・消費者による生産現場の訪問バスツアーを実施
- ・地場産農産物を利用した料理のメニュー化を推進

【農務部 農林課・営農課】

3. 個性的な農業の推進

(1) 後継者の育成

就農後間もない農家後継者向けの十勝ふるさと農学校「元気塾3期」を開催し、農業経営、農業技術に関する研修を行った。

- ・元気塾生 20人

【農務部 営農課】

4. 環境と調和した農業の推進

(1) 資源循環型農業の推進

土づくりの推進とともに、環境に配慮した農業を目指すエコファーマーの認定や有機・減農薬栽培の促進を図った。また、緑肥導入に対する補助を継続実施した。

- ・国事業実証ほ補助

休閒緑肥 78.0ha

【農務部 営農課】

(2) 農業廃棄物の適正処理

環境と調和した農業を推進するために、農業廃プラスチックの適正処理を促進するとともに、排出量を抑制するための生分解性資材の普及を図った。また、長いもネットと茎葉の堆肥化について試験・普及を行った。

- ・生分解性長いもネットの資材購入助成 32ha
- ・生分解性マルチの普及助成 6.9ha
- ・農薬空容器回収専用袋の配布 全戸(8,250枚)
- ・作物残さの利活用研究(帯広畜産大学との共同研究)
- ・長いもネット堆肥化安全性試験

【農務部 営農課】

5. 個性的な農村づくり

(1) 生活環境の整備

農村下水道整備事業

区分	地区名	本年度施工事業量	進捗率	計画期間
個別排水 処理事業	川西	浄化槽設置 18戸	50.60%	平成11年～平成22年
	大正	浄化槽設置 12戸		

農村公園整備事業

地区名	本年度施工事業量	進捗率	計画期間
広野	農村公園整備 植栽、トイレ実施設計	23.96%	平成15年～平成17年

【農務部 農村整備課】

6. 文化を育む農村づくり

(1) 農業の持つ教育機能の活用促進

農村地域の歴史的資源や田園景観の拠点施設を整備するとともに、古い農機具の展示保管施設の整備等を実施した。

- (道営田園空間整備事業)

- ・(仮称)とかち大平原交流センター センター棟新設工事

- (単独事業)

- ・農機具展示保管施設 新設工事

【農務部 農林課】

7. 林業の振興

(1) 多様な森林づくり

市有林の現況

区 分	面 積(ha)	蓄積(m ³)
天 然 林	935.26	114,839
人 工 林	1,531.44	304,641
そ の 他	27.18	
合 計	2,493.88	419,480

市有林造成事業

区 分	工 種	樹 種	対象面積(ha)	植栽本数(本)
新植事業	植 栽	カラマツ	4.12	10,300
		計	4.12	10,300
保育事業	下 刈 除 伐 地 拵 間 伐	人工林植栽他	25.60	
		カラマツ	3.88	
		人工林伐採跡他	8.47	
		カラマツ等	106.16	
		計	144.11	

市有林収穫事業

皆伐売払	498m ³
素材売払	2,674m ³
計	3,172m ³

林道事業

・普通林道北岩内線開設工事 延長260m 幅員4.0m

【農務部 農林課】

(2) 民有林の振興

林業振興対策事業

事 業 名	事業内容	対象面積
帯広市間伐奨励事業	間 伐	6.22 ha

森林作業員長期就労促進事業 就労長期化促進 31人

【農務部 農林課】

(3) 有害鳥獣の駆除

森林保護事業(野そ駆除剤地上手播) 手播面積 23.45ha

【農務部 農林課】

第3節 工業

1. 技術開発力の向上

(1) 産業支援機能の整備

地域の資源や技術、人材などを有機的に結びつけながら、産業間・産学官の連携を強化し、地場産業の高度化・複合化による内発的な産業振興を促進した。また、技術開発・製品開発をはじめ起業化や新分野への進出など、企業の創造的な事業活動を総合的に支援する拠点施設「(仮称)地場産業支援センター」の建設に向けた取組を進めた。

【商工観光部 工業課】

(2) 技術開発の支援

帯広市産業技術センターに技術コーディネーターを1人配置し、地元企業からの技術相談等に対して指導助言を行うとともに、大学や公設研究機関と連携し新製品・新技術開発に向けた技術力向上に努めた。

- ・技術相談者の状況

	企業訪問	相談	専門家紹介	会合出席	他の活動
実績(件)	10	15	9	10	延 29

【商工観光部 工業課】

(3) 技術情報の提供

地元企業の技術力向上のため、大学や試験研究機関の先進的な研究成果や技術情報並びに産業財産権などの情報提供に努めた。

- ・各研究機関刊行物の収集 337冊
- ・産業財産権に関する相談・検索・講習会等 87件

【商工観光部 工業課】

(4) 研究開発型企业などの育成

地場企業のものづくり能力や研究開発力の向上のため、光学実験計測装置や画像入力解析装置などを活用した新製品の試作開発に向けて研修会、講習会等を開催した。

【商工観光部 工業課】

2. 経営基盤の強化

(1) 経営の効率化

帯広市産業技術センターに経営専門アドバイザーを1人配置し、地場企業の経営面(生産・工程・財務管理等)の課題について指導助言を行い、企業経営体質の改善・強化に努めた。

- ・経営相談等の状況

	企業訪問	相談	会合出席	他の活動
実績(件)	2	15	5	延 9

【商工観光部 工業課】

3. 人材の育成・誘致

(1) 人材の育成

帯広市商工観光振興基金(平成16年度に商工業振興教育基金と観光事業振興基金を統合)を活用し、市内の商工業等従事者の資質向上を図るため各種研修事業等への活動を支援した。

- ・国内個人派遣研修事業 8人

【商工観光部 商業課】

(2) 異業種交流の促進

新たな事業や雇用を創出する上で、域内の限られた人材や技術などの産業資源のみでは不十分なことから、より広域的なネットワークを構築するため、産学官連携や異業種交流活動への参加を奨励する等の支援を行った。

【商工観光部 工業課】

(3) 人材の確保・誘致

北海道工業試験場の研究員を帯広市産業技術センターにて長期に受入れ、地場企業への技術指導や研究成果等を仰ぐことで、新製品の開発や新技術の導入を促進した。

- ・受入日数 126日

【商工観光部 工業課】

4. 産業立地の促進

(1) 産業立地環境の整備

企業立地の受け皿として、産業系用地の安定的な確保と利用促進を図るため、(財)帯広市産業開発公社により帯広市西20条北工業団地の販売を促進した。

- ・販売実績

区分	12年度～15年度	16年度	計
販売 (賃貸含む)	10区画 14,681.72㎡	8区画(2区画) 16,310.15㎡(4,116.57㎡)	18区画(2区画) 30,991.87㎡(4,116.57㎡)

()内は、賃貸区画数及び面積で内数。

【商工観光部 工業課】

(2) 企業立地の促進

本市における企業の立地を促進するため、帯広市内に工場等を新增設した企業に対し助成を行い、産業振興を図った。

また、帯広市西20条北工業団地の企業立地を促進するため、当該工業団地への入居企業に助成した。

- ・帯広市企業立地補助金 1件
- ・帯広市工業団地立地奨励金 6件

【商工観光部 工業課】

第4節 商業・サービス業

1. 商店街の整備

(1) 個性ある商店街の形成

個性的で魅力ある商店街の形成を図るため、商店街が自ら行う活性化事業に対して支援を行った。

- ・商店街活性化事業に対する助成 16商店街
- ・おびひろイルミネーションプロジェクトに対する助成

【商工観光部 商業課】

(2) 商店街の環境整備

快適な商業環境を創出するため、ロードヒーティングの維持費に対して助成を行った。

- ・商店街ロードヒーティング等維持費の助成 7商店街

【商工観光部 商業課】

2. 経営基盤の強化

(1) 融資制度の充実

事業規模・雇用の拡大や経営効率の向上を支援するため、パワーアップ資金を提供し、事業資金調達の円滑化を図った。

事業計画の改善や資金繰りの安定化を目的に運転資金として、セーフティネット資金を提供し、経営の維持・安定を図った。

小企業資金・セーフティネット資金に関わる保証料補給制度を継続し、資金調達円滑化の促進・支援を図った。

北海道の創業貸付における保証料について保証料補給制度を継続し、創業者に対する支援強化を図った。

制度融資の利用を促進するため、リーフレット等を配布するとともに取扱金融機関、信用保証協会等関係機関と連携を深め、中小企業者からの融資・経営相談に対応する相談窓口の充実強化を図った。

融資利用状況

資金名	預託金額 (千円)	新規貸付			年度末残高		
		件数 (件)	金額 (千円)	前年比	件数 (件)	金額 (千円)	前年比
小企業資金	1,159,446	325	1,380,590	147.5%	1,078	2,665,457	111.8%
設備資金	1,116,444	45	649,340	68.3%	350	2,510,495	97.4%
運転資金	508,900	103	708,430	111.4%	197	990,195	115.3%
特別設備資金	207,242	2	60,000	70.6%	19	281,546	106.9%
大型店対策資金	50,224	1	20,000	皆増	13	81,337	92.7%
組織強化資金	38,558	1	1,500	皆増	10	38,609	75.5%
セーフティネット資金	1,356,961	94	1,086,404	79.8%	215	2,065,466	146.1%
工業団地取得・設備資金	572,786	6	105,300	32.7%	54	1,062,679	104.2%
新規開業支援資金	21,802	1	5,500	30.6%	12	42,324	88.4%
制度廃止・取扱していない資金	217,637				32	291,350	81.8%
合 計	5,250,000	578	4,017,064	91.3%	1,980	10,029,458	110.7%

【商工観光部 商業課】

(2) 商業団体の育成

商店街の組織化及び商業団体の機能充実に促進するため、商店街振興組合連合会に対し、支援を行った。

商工会議所青年部連合会第24回全国大会北海道・帯広大会の開催に合わせ帯広商工会議所が行った「産業交流事業」に対して助成した。

【商工観光部 商業課】

3. 中心市街地の活性化

(1) 中心市街地の活性化

中心市街地活性化や商業振興に対する取組の基礎資料とするため、帯広商工会議所が実施主体となって中心部41地点で行った「歩行者通行量調査」に対して助成した。

【商工観光部 商業課】

第5節 中心市街地

1. 都心機能の強化

(1) 十勝・帯広の顔づくり

帯広市駅北多目的広場のイベント事業等への貸付を行った。

- ・利用件数 18件

えきまえ四季うるおい空間創出事業の実施

・駅北交通広場等に立体花壇を設置し、帯広の玄関であるJR帯広駅周辺に潤いのある空間を創出した。

- 立体花壇設置 4ヶ所

【商工観光部 都心振興課】

(2) 中心市街地の魅力づくり

中小小売商業高度化事業構想(TMO構想)の実現に向け支援を行った。

- ・TMO機関に対する推進事業費の補助
- ・「北の屋台」のソフト事業に対する補助

【商工観光部 都心振興課】

「菓子大国とかちフェスティバル」の開催

十勝の和洋菓子店が菓子等を実演・販売することにより、地元での消費拡大を促進するほか、大規模な集客イベントとして展開することにより中心部の魅力向上を図るため、「菓子大国とかちフェスティバル」を開催した。

- ・開催月日 10月28日～11月3日(7日間)
- ・延入場者数 約70,000人
- ・出店数 24店

【商工観光部 商業課】

(3) 国の合同庁舎構想の促進

国の合同庁舎構想の促進に係る資料・情報の収集を行うとともに、関係機関との協議を進めた。

【企画部 企画課】

第6節 観光・物産

1. 観光拠点の整備

(1) 十勝エコロジーパーク計画の推進

十勝エコロジーパーク計画の促進並びに、国の千代田新水路事業及び周辺地域の河川環境整備、道立広域公園の整備促進に向けた要請を行った。

【商工観光部 観光課】

(2) 愛国駅・幸福駅・大正駅周辺の整備

道営田園空間整備事業を導入し、愛国ふれあい広場の整備を行った。

- 駐車場舗装 977㎡、ベンチ 3基、四阿 1基、照明灯 8基、植樹 11本

【商工観光部 観光課】

(3) 拠点施設の整備

観光案内板の整備 2基 【商工観光部 観光課】

2. 参加体験型観光の振興

(1) 参加・体験型観光の振興

帯広・十勝の観光資源を活かし、体験型観光を振興するため、関係機関・団体とともに取組を進めたほか、ポロシリ自然公園及び周辺において、自然いきいき体験事業を行った。

・自然いきいき体験事業 乗馬、川遊び、木工加工等 21回

【商工観光部 観光課】

3. 観光イベント・コンベンションの充実

(1) イベントの充実

行 事 名	開 催 時 期	開 催 場 所
第32回十勝川イカダ下り	7月25日	十勝川河畔
グリーンフロンティアフェスティバル	7月25日	緑ヶ丘公園
Gビールストリート・にぎわいとちかちフェア	8月9日～16日	広小路
第50回おびひろ七夕まつり	8月5日～8日	広小路
第57回帯広平原まつり	8月14日～16日	市内中心部
第46回おびひろ盆おどり	8月15日～16日	市内中心部
第49回岩内仙峡もみじまつり	10月10日	岩内仙峡
第35回帯広菊まつり	10月29日～11月3日	中央公園
第42回帯広氷まつり	1月28日～30日	緑ヶ丘公園
おびひろ夢あかりアートの街	11月20日～2月14日	中央公園ほか

世界ラリー選手権(WRC)の開催支援

- ・開催時期 9月2日～5日(9月2日はセレモニアルスタート)
- ・開催場所 北愛国交流広場、幕別町、足寄町、陸別町、新得町
- ・参加者 18ヶ国180人、90台、競技関係者(メディア含む)3,000人
- ・観戦客数 211,500人

【商工観光部 観光課】

(2) コンベンションの誘致

各種会議や大会などコンベンションの誘致を(社)帯広観光コンベンション協会で行った。

【商工観光部 観光課】

4. 観光宣伝・受入環境の整備

(1) 宣伝活動の推進

とちかち観光物産センターや帯広駅・とちかち帯広空港の観光案内所において、各種観光・物産情報の提供と情報収集を行い、観光客誘致や観光宣伝の促進を図った。

【商工観光部 観光課】

(2) 観光客の誘致

たびさき案内人事業、幸福駅ハッピーセレモニー事業及びとちかち帯広空港利用促進協議会において、帯広・十勝エリアツアー造成促進事業を行った。

・帯広・十勝エリアツアー造成促進事業 15社 17企画 参加者数 1,808人

第2章 産業複合都市

(社)帯広観光コンベンション協会、十勝観光連盟、(社)帯広物産協会等と協力し、誘致・宣伝事業を行った。

【商工観光部 観光課】

5. 地域資源を生かした観光・物産振興

(1) 物産の振興

「北海道の物産と観光展」(33会場)に参加
姉妹都市である徳島市・大分市での物産展に参加

【商工観光部 観光課】

6. 広域観光の推進

(1) 広域観光の推進

大雪・東北海道など周辺地域と連携し、広域観光の振興を図った。

【商工観光部 観光課】

(2) 姉妹都市との交流

大分市・徳島市子供親善訪問団の派遣・受入

- ・大分市 派遣20人 受入20人
- ・徳島市 派遣20人 受入20人

【商工観光部 観光課】

第7節 労働

1. 職業能力開発の促進

(1) 職業訓練の充実

平成16年度訓練状況

- | | | | |
|---------|----|---|------|
| ・普通課程 | 3科 | 計 | 9人 |
| ・短期課程 | 7科 | 計 | 91人 |
| ・その他研修等 | | 計 | 46人 |
| | 合 | 計 | 146人 |

技能者の養成と技術向上を図る職業訓練の充実・強化のため、訓練事業費に補助を行った。

【商工観光部 労働消費課】

2. 人材の確保

(1) 人材の確保

U・Iターン促進事業(平成17年3月末現在)

- | | | |
|-------------|-----|-----|
| ・求人登録件数 | 12社 | 45人 |
| ・求職登録件数 | | 39人 |
| ・就職決定者数(累計) | | 38人 |

【商工観光部 労働消費課】

3. 雇用の拡大・確保

(1) 雇用の拡大・確保

帯広公共職業安定所、自治体、経済団体、労働団体など関係機関と連携し、雇用失業情勢の情報交換や雇用対策について協議を行った。

国の交付金による緊急地域雇用創出特別対策事業を実施した。

15事業 延雇人数 8,130人

帯広市独自雇用対策事業を実施した。

延雇人数 12,085人

- ・高校生職場体験学習等支援事業

インターンシップを円滑に推進するために、専任の担当者を配置し、事業の円滑な推進と新規高卒者の地元就職の促進を図った。

- ・雇用創出緊急奨励金 5社 5人

- ・地域人材の確保・育成支援事業

企業の中心的役割を担う人材やスキルある人材を広く募り、研修、カウンセリング等教育訓練後、企業側に情報提供し、再就職の促進を図った。

応募 82人、登録 53人、採用内定 21社・22人

【商工観光部 労働消費課】

(2) 季節労働者の雇用

季節労働者緊急雇用対策として3事業を継続するとともに、新規4事業を実施し、雇用機会の確保を図った。

	延就労者数(人)
児童公園砂場入替等業務	176
歩道交差点の人力削り除雪業務	382
公営住宅環境等整備業務	36
保安林風倒木整理事業	477
新緑通街路樹整備事業	49
緑地帯樹木整備事業	268
中央公園改修事業	97
合 計	1,485

【商工観光部 労働消費課】

(3) 障害者の雇用機会の拡大

障害者等を雇用した事業主に対する助成金制度を継続し、雇用機会拡大を図った。

【商工観光部 労働消費課】

(4) 高齢者の就業支援

シルバー人材センター（臨時的・短期的就業機会の提供）

- ・登録会員数 857人（平成17年3月末現在）

- ・受注件数 6,351件

帯広市高齢者職業相談室（エスタ帯広東館2階）

- ・紹介件数 633件（平成16年度実績）

- ・就職件数 166件

【商工観光部 労働消費課】

4. 勤労者福祉の充実

(1) 労働環境の整備

労働相談

- ・相談件数 42件

労働調査

- ・帯広市事業所雇用実態調査の実施
- ・帯広市季節労働者雇用実態調査の実施

労働安全

- ・労働安全ビデオの貸出 貸出件数 9件 50巻

【商工観光部 労働消費課】

(2) 勤労者福祉の向上

とかち勤労者共済センターの内容充実(中小企業労働者の福祉増進)

- ・加入事務所 716社(平成17年3月末現在)
- ・加入人員 6,946人

帯広市労働者貸付金(生活資金貸付)

- ・貸付件数 18件

季節労働者対策

- ・季節労働者生活資金貸付金 貸付件数 10件

【商工観光部 労働消費課】

第 3 章 環境共生都市

第1節 環境保全

1. 環境への負荷の少ない地域社会づくり

(1) 総合的な環境保全

市民主体の帯広市環境保全推進会議と協働で、環境保全活動への市民参加を啓発する環境交流会等を実施した。

【緑化環境部 環境課】

2. 自然環境の保全

(1) 自然環境の保全

自然環境保全地区（民有地）を新たに1ヶ所指定した。

自然環境監視員3人、ヌップク川自然環境監視員1人を委嘱し、自然環境を監視した。

植生調査を2林で実施した。

【緑化環境部 環境課】

3. 環境学習の推進

(1) 環境学習のプログラムづくり

環境教育機会の提供のため、環境に関する作品展を開催した。

・参加作品数 143点

【緑化環境部 環境課】

(2) 環境情報の提供

自然ガイド No. 6（動物）を2,000部作成した。

帯広市環境白書(平成16年度 第35号)を作成した。

出前環境教室・講座を実施した。

・2中学校 674人、4団体 445人

【緑化環境部 環境課】

4. 市民による行動

(1) 市民行動の指針づくり

市内事業者の環境ISO14001の認証取得に対する補助制度を実施し、3事業者に対し補助を実施した。

帯広市環境にやさしい活動実践校（学校版環境ISO）として、小学校5校の認証を更新するとともに、新たに中学校1校を認証した。

【緑化環境部 環境課】

(2) 環境美化の推進

空き地の管理実態調査(春と秋)を行い、草刈を奨励し、環境衛生の向上に努めた。

帯広市町内会連合会の活動として、全市一斉河川清掃運動等を推進し、公衆衛生の向上に努めた。

野犬掃とう及び苦情の処理等を実施した。

区 分	頭数又は件数
畜犬登録申請頭数	563頭
野犬掃とう頭数	51頭
苦情処理件数	266件

【緑化環境部 環境課】

5. 環境管理体制の整備

(1) 公害の未然防止

公害の現状を把握し、発生源対策に努めるとともに、公害の未然防止・環境保全に関する意識の啓発普及を図るため、各種調査・広報活動を実施した。

・各種調査・測定状況

区 分	調査・測定項目	測定地点
大 気 汚 染	二酸化硫黄	産業技術センター
	二酸化硫黄・浮遊粉塵 一酸化炭素・窒素酸化物	公害防止センター
水 質 汚 濁	河川水質調査	10河川 14地点
	糞便性細菌調査	4河川 4地点 8検体(5月) 8河川 11地点 11検体(9月)
酸 性 雪	酸性雪調査	市内 5地点 近隣4町 5地点
		市内各所(25ヶ所)
騒 音 ・ 振 動	特定工場等立入検査	市内各所(25ヶ所)
	自動車騒音調査	市内 5地点
	航空機騒音調査(固定)	十勝飛行場周辺 2地点
悪 臭	航空機騒音調査(移動)	十勝飛行場周辺 10地点
	発生源調査	市内 5事業所

・公害苦情処理状況

種類	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	合計
件数	75	5	11	1	10	4	106

・公害防止センターの監視・測定体制の充実のため、測定機器の更新・整備を実施した。

【緑化環境部 環境課】

(2) 監視・調査体制の充実

地盤沈下等環境調査の実施状況

調査・測定項目	測定地点
地下水位観測	帯広工業団地 1ヶ所
深層地熱水水位観測	市内 3ヶ所

【緑化環境部 環境課】

6. エネルギーの有効利用

(1) 未利用エネルギーの有効利用

自然エネルギーの利活用の普及促進を図るため、住宅用太陽光発電システム設置補助制度を継続し、18戸に対し補助を実施した。

【緑化環境部 環境課】

(2) 省エネルギーの取り組み

家庭内での省エネルギー活動について、広報おびひろに掲載するとともに、帯広市環境保全推進会議との協働によりノーカーデーの普及啓発を行った。

【緑化環境部 環境課】

第2節 ごみ減量化・資源化**1. ごみの発生抑制****(1) ごみの発生抑制**

平成16年10月から家庭ごみの収集運搬手数料の一部を有料化し、大型ごみについては計画収集から申し込み制の戸別収集とした。

【緑化環境部 清掃事業課】

2. リサイクル活動の推進**(1) 資源回収活動の推進**

町内会等の資源集団回収の取組に対し、資源回収奨励金を支給した。

支給団体	資源回収重量(t)				
	紙類	びん類	金属類	その他	合計
721団体	8,594	592	1,140	2	10,328

【緑化環境部 清掃事業課】

(2) リサイクル事業の推進

帯広スタイルの資源回収の日「Sの日」に資源の回収を行い、リサイクルの推進を図った。

	容器包装類	紙類	金属類	リターナブルびん	計
収集量(t)	6,316	2,500	11	56	8,883

【緑化環境部 清掃事業課】

(3) 生ごみの資源化促進

生ごみ堆肥化容器及び電動生ごみ処理機購入費に対し助成を行い、資源化の促進に努めた。

区分	助成数	累計
生ごみ堆肥化容器(個)	259	6,808
電動生ごみ処理機(台)	523	1,063

【緑化環境部 清掃事業課】

3. 啓発・指導活動の推進**(1) 啓発活動の強化**

春・秋2回の「ごみ減量・資源化促進月間」を設定し、広報活動を強化するとともに、「リサイクルパネル展」「秋のリサイクルまつり」を開催して、ごみ問題に関する市民啓発に努めた。

【緑化環境部 清掃事業課】

(2) ごみ懇談会などの開催

市民参加による清掃行政の推進を図るため、ごみ問題の実情やごみ減量・資源化促進の意義や手法などについてごみ懇談会を開催した。

- ・開催回数 36回 参加者数 1,817人

【緑化環境部 清掃事業課】

4. ごみの適正処理

(1) 一般廃棄物の適正処理

ごみ収集状況

区 分	家庭系(t)	事業系(t)	計(t)
可燃物	29,683	17,454	47,137
不燃物	10,608	3,110	13,718
資源	8,883	0	8,883
合 計	49,174	20,564	69,738

し尿収集状況

- ・延収集件数 14,156件 収集量 9,894kl

十勝環境複合事務組合による新最終処分場建設に向けた用地選定等の調査を実施した。

【緑化環境部 清掃事業課】

第3節 緑の環境

1. 都市公園の整備

(1) 街区公園の整備

街区公園整備事業

公園名	事業内容	面積等(ha)
やよい第3児童公園	園路、広場、休憩所、遊具、植栽	0.07
西こまどり児童公園	園路、広場、休憩所、遊具、植栽	0.05

ポケットパーク整備事業

公園名	事業内容	面積等(ha)
みあさ広場	広場、遊具、植栽、休憩施設等	0.09

【緑化環境部 公園と花の課】

(2) 近隣公園・地区公園の整備

中央公園改修工事

- ・ユニバーサルデザイン思想に基づく改修を行った。

改修内容 スロープ・階段手すり設置、園路・出入口新設、ベンチ等

【緑化環境部 公園と花の課】

(3) 総合公園の整備

緑ヶ丘公園整備事業

公園名	事業内容	面積等(ha)
緑ヶ丘公園	照明灯、園路、休憩所	0.70

【緑化環境部 公園と花の課】

(4) 都市緑地・河川緑地の整備

中島霊園整備事業

- ・施設整備 植栽、植生工 1.0ha

河川緑地整備事業

名称	事業内容	面積等
十勝川緑の回廊	植栽	640m

【緑化環境部 公園と花の課】

中島地区土地利用基本構想策定

- ・土地利用計画に基づき、基本構想を策定した。

【緑化環境部 清掃事業課】

(5) 公園整備・管理のあり方

公園遊具設置工事

- ・親子が一緒に楽しめる遊具を24公園に設置した。

【緑化環境部 公園と花の課】

2. 帯広の森の整備

(1) 帯広の森の用地取得と造成

帯広の森整備事業

用地取得 1.51ha

【緑化環境部 公園と花の課】

(2) 帯広の森の育成

市民植樹祭の開催

- ・参加者数 4,500人、植樹本数 5,150本

市民育樹祭の開催

- ・参加者数 950人、育樹対象本数 13,000本

【緑化環境部 公園と花の課】

(3) 市民利用の促進

帯広の森30周年記念事業

- ・帯広の森造成の経緯や植樹活動など、30年の歴史を振り返り、未来へ伝える映像記録を製作するとともに、今後の帯広の森づくりを考えるシンポジウムを開催した。

【緑化環境部 公園と花の課】

3. 美しい花と緑の環境づくり

(1) 公共・民有地緑化の推進(緑倍増計画の推進)

慶事記念樹の贈呈

- ・市民の慶事(誕生、住宅新築)に樹木(苗木)を贈呈し、民有地緑化を推進した。

誕生 274本、住宅新築 201本、還暦 16本 合計491本

花と緑の歩行者空間づくり

- ・花と緑による潤いのある空間形成及び景観形成を市民の参加を得て実施した。

参加団体 1町内会、1商店街

【緑化環境部 公園と花の課】

(2) 緑道の整備

光南緑地(旧広尾線跡地)整備事業

- ・施設整備 園路、広場、休憩所、照明、植栽
- ・用地取得 0.43ha

緑地帯整備事業

- ・新緑通緑地帯の整備 伐採 55本 補植 70本
- ・西24・25条南1丁目緑地帯の整備 伐採 233本、剪定 159本、補植 39本

【緑化環境部 公園と花の課】

(3) 緑づくりの支援

緑の環境づくりの相談・指導

相談者数 (人)	内容別件数(件)				相談者の内訳(人)		
	病害	虫害	管理全般	小計	往診	電話	来館
964	63	151	912	1,126	49	518	397

緑化重点地区基本計画策定

- ・「緑の基本計画」に基づく「緑化重点地区」候補地である鉄南地区を対象として、基本計画策定のため、緑の現況調査を実施した。

【緑化環境部 公園と花の課】

(4) 市民参加による花と緑の環境づくり

フラワー通整備の促進

- ・市民参加を得てグリーンパーク周辺、公園大通、西3条通、柏林台通ほかにサルビアなどを植栽した。

整備路線延長 8,660m、使用花苗数 90,200株

花壇コンクールの実施

- ・市民参加を得て、植樹榭、学校などで花壇コンクールを実施した。

参加団体 79団体、花壇面積 12,741m²

【緑化環境部 公園と花の課】

第4節 住宅・住宅地

1. 住宅の整備

(1) ユニバーサルデザイン住宅の普及

ユニバーサルデザイン住宅建設資金貸付金・住宅改造資金補助金

- ・貸付金 新築 11件 増改築 3件 融雪施設 60件
- ・補助金 住宅改造 46件

【都市開発部 建築指導課】

(2) 公営住宅の整備

公営住宅建替

団地名等	事業内容等	構造等
柏林台団地 (西町R 8、9)	建設工事(15~16年度)	高層耐火構造 8階建 2棟 80戸
大空団地 (2-3、5、6)	建設工事(15~16年度)	低層耐火構造 2階建 3棟 36戸
柏林台団地 (西町R 6、7)	実施設計	高層耐火構造 8階建 2棟 80戸
柏林台団地 (西町外構)	外構整備及び旧市営住宅解体	
大空団地 (2街区外構)	外構整備及び旧市営住宅解体	
(仮称) 稲田団地	市営住宅用地取得 西15条南36丁目	13,148,66 m ²
	測量試験・基本設計・実施設計	中層耐火構造 5階建 2棟 90戸

公営住宅維持修繕 空き家 151戸、共用部、付帯設備修繕

【都市開発部 住宅課】

2. 住宅地の整備

(1) 新市街地の整備促進

民間土地区画整理事業の普及、及び指導を実施した。

地区名	事業主体	施行面積 (ha)	認可告示年月日	備考
緑商第二	組合	34.6	平成 4年3月6日	施行中
稲田川西	組合	88.1	平成 15年4月1日	施行中

【都市開発部 宅地開発課】

(2) 未利用地の利用促進

組合施行による土地区画整理事業に向けた事前調査を行った。

調査名	施行面積 (ha)
(仮称) 帯広市緑商第三土地区画整理事業調査費	4.80

【都市開発部 宅地開発課】

3. 住居表示などの整備

(1) 住居表示の整備

分かりやすく住みよい街づくりのため、住居表示を整備し併せて字名改正を行った。

- ・実施場所 帯広市南町の一部
- ・実施面積 20.80ha

【建設部 管理課】

第5節 道路

1. 道路の整備

(1) 幹線道路の整備

路線名	施工箇所	延長(m)	幅員(m)
共栄通	西12条南3丁目	用地取得・補償 107.79	18.00
柏林台通	柏林台北町5丁目		
玄武通	西15条北2丁目	路体盛土 樹木根巻、移植 調査	18.00
弥生新道	西18条南40～41丁目		
学園通	西7～12条南41丁目	橋梁、 327.01	18.00
西16南1・西6号線	西16条南1丁目		
光南・東3号甲線	東8～9条南21～22丁目	用地取得・補償	
豊成西・12号線	稲田町南8～9線	用地取得・補償	
西10号南線	西20条南1丁目	橋梁	

【建設部 土木課】

(2) 生活道路の整備

路線名	施工箇所	延長(m)	幅員(m)
西17南3・1号線	西17条南3丁目	121.87	13.87
新町・9号線	新町西1～3丁目	294.10	12.00～13.80
下水処理場・東小学校線	東6～7条南3～4丁目	116.60	12.00
西20南4・1号線	西20条南4丁目	235.00	16.00
南22丁目東線	東1～2条南22丁目	167.80	20.00
南7線西線外	南町南7線	93.85	9.50
西15条南36・1号線	西15条南36丁目	88.46	12.00
稲田町東・87号線外	稲田町基線、東1線	1,293.74	8.00～9.00

【建設部 土木課】

側溝整備

- ・市道白樺16条・25号線外6路線

延長 1,059m

特殊舗装

- ・打替 市道西17条北2・13号線外41路線

延長 7,214m

- ・オーバーレイ 市道西5条南乙線外4路線

延長 4,823m

【建設部 道路維持課】

(3) 歩行者・自転車道の整備

路線名	施工箇所	延長(m)	幅員(m)
北栄グリーンロード	西9条南3丁目	橋梁	-

【建設部 土木課】

第6節 河川

1. 治水対策の推進

(1) 治水対策の推進

大成川の整備 護岸整備 172.27m

【建設部 土木課】

2. 水源の保全

(1) 水源の保全

大正簡易水道整備事業

地区名	本年度施工事業量	進捗率	計画期間
大正	配水池	2池	平成14年～平成18年
	配水管	7,306m	
	送水管	3,782m	

【農務部 農村整備課】

第7節 都市景観・農村景観

1. 都市景観づくり

(1) 公共施設の景観づくり

公共サインの整備

- ・良好な景観づくりを先導するため、公共施設表示板などの整備を進めた。

公共サイン整備件数 川西保育所外1ヶ所

公共施設等に係る景観形成の推進

- ・都市景観形成主要建築物を選定し、帯広市都市環境デザイン委員会において指導、助言を行った。

選定公共施設 4物件

【都市開発部 都市計画課】

(2) 市民の参加による景観づくり

都市景観賞の実施

- ・都市景観に対する意識の向上及び都市環境の質的向上を図るために、都市景観に対する提案を広く市民から募集し表彰した。

提案部門 応募件数 51件 表彰件数 8件

公園大通景観グレードアップ事業の実施

- ・市民と行政が協働し景観づくりを地域全体に広めていくために「公園大通グレードアップ事業」を実施した。

花壇参加者 参加者 180人 ワークショップ 4回開催

イルミネーション点灯 12～2月 氷みこしの実施

【都市開発部 都市計画課】

第 4 章 生涯學習都市

第1節 幼児教育

1. 幼稚園教育の充実

(1) 就園の奨励

父母の経済的負担を軽減し、幼児の就園促進を図るとともに研修機会を充実させるため、就園奨励費及び教材費、教員研修費を補助し、幼稚園教育の充実に努めた。

- ・就園奨励費支給人員 1,786人

【学校教育部 学校教育課】

第2節 小中学校教育

1. 教育内容の充実

(1) 指導相談体制の充実

適応指導教室「ひろびろ」において、学校へ行けない子供達に対する教育相談や基本的な生活習慣学習活動について指導援助を行い、再登校を促した。

通級状況	区 分	小3	中1	中2	中3	計
	通級児童生徒(人)		1	4	5	8
教育相談(件)		30				

- ・指導の効果

中学生4人が完全復帰、3人が部分復帰

中学生卒業生7人が進学、1人が家事手伝い

市内の中学校14校に「心の教室相談員」を配置し、815件の教育相談活動を行い、子供たちの悩みに対応した。特に、不登校傾向の生徒144人に対応し、担任と連携して指導援助を行った。

【学校教育部 学校教育指導室】

2. 教育環境の整備

(1) 障害児教育の充実

新たに、知的障害児学級を川西小学校に、情緒障害児学級を第七中学校に設置した。

障害児学級設置状況

()内は実学校数

区 分	小学校			中学校		
	設置学校数 (校)	学級数 (学級)	児童数 (人)	設置学校数 (校)	学級数 (学級)	生徒数 (人)
知的障害	11	14	60	5	7	34
言語障害	3	(通級)	139	1	1	7
肢体不自由	1	1	4	1	1	1
情緒障害	4	10	67	5	5	27
病 弱	1	1	5	1	1	6
合 計	20 (14)	26	275	13 (8)	15	75

平成16年5月1日現在(病弱学級については年間実人員)

車椅子を使用して通学する児童生徒の生活介助を行う介助員を増員するとともに、配置日数を週4日から週5日へ拡充した。

【学校教育部 学校教育課】

(2) 学校図書館の充実

蔵書を充実するとともに、専門員を配置した。

- ・図書整備数 8,370冊
- ・専門員の配置 小学校16校、中学校6校

学校図書館開放モデル事業を明和小学校及び大正小学校で実施した。

【学校教育部 学校教育課】

(3) 教育設備の充実

教室用机・椅子の日本工業規格改正に伴い木製机・椅子に更新した。

- ・中学2年生分 1,751台

【学校教育部 総務課】

(4) 教職員研修機会の充実

十勝教育研修センターおける、十勝管内市町村が共同して行う教育に関する研修に参加した。

- ・参加研修講座数 38講座 受講者数 221人

個人研究サポ - トシステムの展開

教員の資質向上を目指し、研修機会・研修活動への支援を行い、各研究員の研修成果を冊子に収録し全教職員に配布するとともに報告会を開催し研究成果の還元を図った。

- ・個人研究サポ - ト 4人
- ・体験研究サポ - ト 6人
- ・地域教材研究サポ - ト 2人

【学校教育部 学校教育指導室】

(5) 学校給食の充実

給食の配食状況

区 分	配 食 数(食)
小 学 校	2,088,218
中 学 校	1,080,371
へき地保育所	25,269
父 母 試 食	3,501
施 設 見 学 者	707
職 員	14,761
合 計	3,212,827

ふるさと給食の実施

- ・全小中学校 11月 8日～12日
- ・市民試食会 11月 8日 参加者数 16人
- 11月12日 参加者数 20人

【学校教育部 学校給食共同調理場】

3. 社会変化に対応する教育の推進

(1) 国際化・情報化への対応

清川小学校校内LANの配線整備を行った。

【学校教育部 総務課】

ニューメディア利用教育推進

- ・学校における情報教育を推進するため、小学校14校においてコンピュータを増設し、2人1台化へ向けた整備を行った。

【学校教育部 学校教育課】

教育研究所に設置のパソコン10台を利用し、教職員の操作能力の向上を図るために「パソコン研修講座」を実施するとともに、教材を開発した。

- ・講座回数 26回 受講者数 361人

市内小中学校で教材として利用するパソコンソフトとデータベースを開発した。

- ・パソコンソフト

学 年	教 科	タ イ ト ル
小 5	算 数	小数のわり算
中 1	数 学	正負の数2

- ・データベース 地域教材データベース「帯広の文化・スポーツ」(小中学校)

小中学校情報教育専門員支援事業

- ・小中学校での情報教育推進を支援するため、システム面・技術面でサポートする専門員を派遣した。 41校(各3回派遣)

【学校教育部 教育研究所】

小中学校へ国際交流員及び国際理解教育指導助手、中学校へ外国人専任講師の派遣を行った。

- ・小学校(国際理解教育指導助手) 1校平均 46.7時間
- ・中学校(外国人専任講師) 1年生平均 10.7時間
2年生平均 11.3時間
3年生平均 6.3時間

- ・国際交流員他外国人講師派遣事業 243時間

教職員海外研修派遣事業

- ・派遣先 英国 ロンドン大学 1人

【学校教育部 学校教育指導室】

(2) 環境学習の充実

郷土を愛し、思いやりの心を育む教育活動の推進

- ・全26校の小学校4年生を対象とした郷土体験バス学習を行った。
- ・10校の中学校2年生を対象とした自然体験バス学習を行った。

【学校教育部 学校教育指導室】

(3) 学校評議員制度の導入

地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校評議員制度を導入した。

- ・小学校 26校 127人
- ・中学校 15校 74人
- ・高 校 1校 5人

【学校教育部 総務課】

高校生の職業観や勤労観を培い、将来の進路選択に資するため、企業、商店、事業所等での就業体験（インターンシップ）を3年生全員が参加して実施した。

【学校教育部 帯広南商業高等学校】

第4節 高等教育・試験研究機関

1. 新しい大学の整備

(1) 新しい大学の整備

十勝大学設置促進期成会が実施する新たな大学設置に向けた取組を支援したほか、学校法人との協議や高等教育機関整備に係る資料・情報の収集を行った。

【企画部 企画課】

2. 帯広畜産大学などの整備

(1) 帯広畜産大学の整備・拡充

帯広畜産大学整備拡充促進期成会の取組を支援したほか、国立大学法人等に係る資料・情報の収集を行った。

【企画部 企画課】

第5節 生涯学習

1. 生涯学習推進体制の整備

(1) 生涯学習推進体制の整備

帯広市生涯学習推進本部を中心に、関係機関・団体などと連携を図りながら推進体制の整備に努めた。

【生涯学習部 生涯学習課】

2. 生涯学習活動への支援

(1) 学習機会の提供

市民の多様な学習要望に応えるため、関係機関・団体と連携を図り、学習機会の提供に努めた。

・生涯学習フェスティバルの開催

実施事業数	82件	参加団体数	関係機関・団体	42団体
			関係課・館	15課

・各種講座の状況

講座・教室等の名称	講座・科目数	参加者数	備 考
ふれあい市政講座 (出前講座)	49講座	31,529人	396回開催
放送大学 (帯広学習室)	86科目	750人	
ひろびろ学び 100科		43人	
コミュニティ講座	195講座	14,192人	
市民大学講座	6講座	202人	
高齢者学級 (寿学級)	延 50回	4,792人	在籍者数 255人 1年生 146人 2年生 109人

【生涯学習部 生涯学習課】

百年記念館活動

・利用状況	利用者数	109,050人
・広域事業の実施		
第23回郷土美術展		1,127人
特別企画展「樺太アイヌ民族誌」		6,908人
収蔵作品移動展「十勝ゆかりの作家たち」		1,846人
移動展「写真でみる十勝そのとき」		
浦幌町、音更町、芽室町、豊頃町		1,861人
自然観察会	5回	125人
郷土学習見学会	2回	70人
博物館講座	12回	550人
古文書教室	1回	24人
特別講座		
版画講座	1回	13人
親子陶芸(七宝)講座	3回	74人
ラブバード講座	8回	240人
ロビーコンサート	10回	730人
・陶芸講座、夜間陶芸講座、希望講座の実施	受講者数	2,292人

【生涯学習部 百年記念館】

児童会館活動

・子供たちの科学する心や創造性・社会性を育むため、日帰り・宿泊学習のほか科学クラブや文化クラブなどの事業を行うとともに、野草園・岩内自然の村の管理を行った。

施設の利用状況

施設名	利用者数(人)
児童会館	99,226
野草園	12,415
岩内自然の村	5,223

事業の状況

科学関連事業

科学展示室入場者		23,656人
プラネタリウム入場者		10,275人
宿泊学習・日帰り理科学習	74校	2,811人
星の観察会	9回	246人
小学生科学クラブ	10回	179人
親子実験教室	3回	99人
少年少女発明クラブ	24回	450人
アートの祭典(40周年記念事業)	10月9日	1,233人
青少年のための科学の祭典	10月10日	2,347人

文化関連事業

宿泊研修	12団体	1,191人
わくわくこどもまつり	5月5日	1,345人
氷まつり協賛行事	1月29・30日	1,742人
人形劇公演	11回	829人
親と子のエンジョイ将棋	10回	390人

第4章 生涯学習都市

親と子のおもしろ教室	8回	415人
図画工作クラブ	6回	90人
文化講座(イラスト・手作り楽器講座)	11回	186人
ぐるっと緑ヶ丘クイズ&スタンプラリー		276人
全十勝小中学生将棋大会	3月27日	124人
帯広児童劇団公演	11月28日	1,238人
宇宙学校	10月31日	612人

国際協力事業

JICA理科実験教育研修コースの実施 (スリランカ・ネパール・バングラデシュ・モルジブ)	4ヶ国	13日間	117人
---	-----	------	------

野草園関連事業

野草園の集い	4月29日	250人
「野草園の花」作品展	7月13~17日	479人

岩内自然の村関連事業

ふれあいファーム	5月~9月3回	347人
----------	---------	------

【生涯学習部 児童会館】

動物園活動

・総入園者数	122,190人	
大人	49,072人	
高校生	1,126人	
小中学生	11,910人	
就学児未満・65歳以上	56,592人	
冬季特別開園	3,490人	
・教育事業		
総合学習等受入	38回	401人
おやこ動物園教室	1回 11組	22人
1日飼育係(小学校低学年)	3回	36人
1日飼育係(小学校高学年・中学生)	2回	24人
1日飼育係(高校生以上)	1回	14人
サタデークラブ	8回	56人
スポットガイド	24回実施	
こども動物園団体利用	69組	2,756人
ふれあい(こども動物園個人参加)	120日実施	5,696人
企画展(どんぐりのいえ)	4月29日~11月3日	
企画展(肉食獣)	7月30日~8月22日	
夏休みおやこ絵画教室		20人
ミニミニガイド発行	8回発行	
アニマル通信	2回発行	
幼児・児童動物画コンクール	497人(13枚道大会参加)	入賞190点
夜間開園	7月30日~8月1日	3,127人
夜の動物園(スポットガイド)	7月30日~8月1日	
動物園アート講座童謡コンサート	1回	80人
動物園アート講座アニマル壁画を描こう	1回	80人

動物園講座交通安全教室	1回	50人
動物園アート講座イラスト教室	1回	50人
動物園アート講座自然アート教室	1回	30人
動物園アート講座わらび座ミニ公演	1回	270人
おびひろ動物園ホームページ	月1回更新	

【生涯学習部 動物園】

(2) 学習情報の提供

地域の情報収集・提供システムを整備し、指導者情報など生涯学習に関する情報の提供に努めた。また、収集したデータは、北のくらし情報システム等を利用して提供した。

【生涯学習部 生涯学習課】

3. 青少年の健全育成

(1) 家庭教育の充実

家庭教育学級の推進	24学級	学級生	398人
青少年健全育成啓発支援事業	4団体	参加者数	276人

【生涯学習部 女性青少年課】

(2) 体験活動機会の充実

帯広市青少年派遣研修事業

・派遣先 松崎町・東京都・横浜市

小学生6人、中学生3人、教職員3人、事務局1人

松崎町教育視察団受入

小学生9人、中学生4人、教職員3人、事務局2人

各種青少年健全育成事業・研修会

・子ども王国(プラザまつり)		900人
・心の教育推進事業(スポーツチャンバラ)		小学校12校で開催
・十勝子ども雪合戦大会	93チーム	573人
・中学生からのメッセージ	16校	16人
・体育館開放事業	26校	10,121人
・わくわくランド	9回	607人
・ウイークエンドサークル活動	2回	56人
大人の集い	参加者数	1,248人

【生涯学習部 女性青少年課】

(3) 指導者の養成

北海道子ども会育成研究協議会(赤平市)	出席者数	5人
地域子ども会リーダー宿泊研修会	4回	127人
ジュニアリーダー養成講座	登録者数	28人

【生涯学習部 女性青少年課】

(4) 健全育成ネットワークづくり

地域青少年育成フォーラム 12地区 502人
【生涯学習部 女性青少年課】

(5) 非行の防止

指導員及び指導協力員等による街頭指導並びに相談員による青少年の悩み相談を実施し、非行防止及び環境浄化に努め、青少年の健全育成の助長を図った。

街頭指導 569件 相談指導 287件
【生涯学習部 青少年センター】

4. 男女共同参画社会づくり

(1) 意識の啓発

女性学級の推進 4学級 学級生 90人
男女共同参画セミナーの開催 2回 参加者数 330人
男女共同参画情報誌の発行 2回
【生涯学習部 女性青少年課】

(2) 参画の促進

男女共同参画リーダー派遣研修 国立女性教育会館 1人
男女共同参画推進支援事業 1団体 参加者数 39人
男女共同参画講座 1コース(4回講座) 受講者数 58人
男性セミナーの開催 1コース(4回講座) 受講者数 20人
【生涯学習部 女性青少年課】

(3) 環境の整備

女性情報コーナーの充実 利用者数 7,514人
【生涯学習部 女性青少年課】

5. 生涯学習施設の整備

(1) 図書館の整備

蔵書冊数 309,774冊(平成16年度受入 17,598冊)

・利用状況

利用区分	利用者数(人)	利用冊数(冊)
館内(本館)	110,854	383,406
館外(移動図書館)	39,027	80,161
市民文庫	9,483	9,483
コミセン図書室	12,726	24,380
学校図書室	4,053	10,770
移動ステーション	12,765	35,528
合計	149,881	463,567

(内夜間開館実績 利用者数 5,149人 利用冊数 16,014冊)

(十勝管内広域個人貸出実績 利用者数 969人 利用冊数 3,088冊)

視聴覚教材利用件数

・映写機等機材	7件
・16mmフィルム	16件
・ビデオテープ	2,797件
・DVDビデオ	702件
・紙芝居	7,883件
レファレンス(相談業務)	件数 7,912件

図書館刊行物

・市民文芸	44号
・読書感想文集	44号
・帯広叢書	52・53号
・たのしい童話	22号

新図書館建設工事(継続)

中城ふみ子賞の創設

- ・没後50年を機に中城ふみ子の功績を称え、地域文化の発信を目的として賞を創設した。
- 応募点数 262点
- 中城ふみ子賞 1点 次席 2点 佳作 4点

【生涯学習部 図書館】

(2) 動物園の整備

こども動物園の整備

- ・小動物(ウサギ・モルモット・ヤギ・ヒツジ・ミニチュアホース)とふれあえる体験型施設「ちびっこふぁーむ」を整備した。

【生涯学習部 動物園】

(3) 百年記念館の整備

アイヌ民族文化情報センター整備事業

- ・「アイヌ民具調査」「アイヌ無形文化聞き取り調査」「アイヌ民族関係の図書の整備」などアイヌ民族文化の調査研究と普及・啓発活動を行った。

【生涯学習部 百年記念館】

第6節 芸術・文化

1. 自主的文化活動の促進

(1) 自主活動の促進

おびひろ市民芸術祭	15,180人
帯広市民バレエ「くるみ割り人形」	2,646人
おびひろ市民ミュージカル「クリスマスボックス」	1,160人
北の構図展	1,174人
とかちサークル写真展	915人
全十勝書道作品展	736人
帯広市民劇場公演	9,558人
帯広市文化賞・文化奨励賞	1個人、1団体

学校文化活動奨励賞

4個人、2団体

【生涯学習部 文化課】

2. 鑑賞機会の拡充

(1) 鑑賞機会の拡充

小中学生のための札幌コンサート	2,907人
親と子のわくわく音楽会	889人
人形劇団ブーク帯広公演	856人
ゴスペルコンサート	1,391人
日本の伝統芸術シリーズvol. 「琴五重奏団アルメリア」	289人
十勝ひろびろ音楽祭	332人
グランディーババレエ帯広公演	1,492人
ポーランド国立民族舞踊団シュロンスク	1,015人
帯広美術館特別企画展「ピカソ、マティスと20世紀の画家たち展」	11,648人
帯広美術館鑑賞事業	8校 483人
学校で美術館事業	4校 2,011人

【生涯学習部 文化課】

3. 文化環境の充実

(1) 文化環境の充実

市民文化ホールの改修

- ・内外装、舞台化粧、空調、ホール客席等の改修、舞台設備等の更新

【生涯学習部 文化課】

4. 歴史的遺産の保存・活用

(1) 歴史的建築物などの保存

古建築調査「旧横瀬邸」調査

【生涯学習部 文化課】

(2) 埋蔵文化財の保護・活用

大正遺跡の発掘調査

- ・調査面積 6,500㎡
- ・縄文時代早・前期(約8,000~6,000年前)の住居跡及び約30万点の土器・石器が出土した。

大空2遺跡の発掘調査

- ・調査面積 400㎡
- ・後期旧石器時代後半期(約15,000年前)の石器等が出土した。

【生涯学習部 百年記念館】

第7節 スポーツ

1. 生涯スポーツ活動の推進

(1) スポーツ機会の提供

各種スポーツ教室・講習会の開催

- ・39事業 10,042人

体育施設利用状況

施設名	利用者数(人)
総合体育館	141,179
帯広の森体育館	95,433
帯広の森研修センター	18,362
帯広の森スピードスケート場	49,402
帯広の森アイスアリーナ	69,388
帯広の森第二アイスアリーナ	34,858
帯広の森スポーツセンター	47,358
帯広の森市民プール	160,362
帯広の森野球場	46,265
帯広の森陸上競技場	48,169
帯広の森弓道場・アーチェリー場	15,766
帯広の森テニスコート	116,343
屋外運動施設	363,866
帯広の森球技場	25,497
計	1,232,248

【生涯学習部 スポーツ課】

(2) 指導者の育成

関係機関・団体と協力し、プロスポーツチーム指導者を招き指導者教室を開催した。

- ・開催回数 2回、参加者数 92人

【生涯学習部 スポーツ課】

(3) スポーツ団体などの育成

スポーツ少年団活動に対する補助

- ・少年団登録数 96団体、指導者 476人、団員 2,860人

帯広市体育連盟（加盟43団体）及び帯広市スポーツ少年団本部に対する補助

全道、全国大会等派遣補助

- ・大会派遣費補助件数 82件

【生涯学習部 スポーツ課】

(4) スポーツ・レクリエーションの振興

スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の授与

- ・スポーツ賞 8個人
- ・スポーツ奨励賞 15個人、12団体

地域スポーツ振興事業

- ・開催回数 64回、延参加者数 3,560人

総合型地域スポーツクラブの育成

- ・十勝圏広域スポーツセンター機能整備協議会を通じ、光南SHCクラブを育成・支援

帯広市健康スポーツ推進委員会事業

- ・秋季体育祭 5,016人
- ・冬季スポーツ事業 670人
- ・マイスポーツ事業 756人

ゴルゲート市民交流事業

・開催地 大空小、柏小、光南小各3回、延参加者数 207人

十勝大平原クロスカントリースキー大会の開催

・開催地 岩内周辺特設コース 参加者数 518人

【生涯学習部 スポーツ課】

2. 競技スポーツの振興

(1) スポーツ大会の誘致

国内スポーツ大会の誘致

・全道、全国大会開催運営補助 34件

プロ野球イースタンリーグ公式戦の開催

【生涯学習部 スポーツ課】

(2) 国内外とのスポーツ交流

日韓スピードスケート交歓交流競技大会の開催

・開催地 ソウル 参加者数 60人

帯広・韓国アイスホッケー親善交流大会の開催

・開催地 帯広 参加者数 60人

【生涯学習部 スポーツ課】

(3) スケート競技の振興

スピードスケート講習会の開催

・講師 40人 参加者数 572人

【生涯学習部 スポーツ課】

(4) スポーツ合宿の誘致

横浜Fマリノスユース、同ジュニアユースの合宿誘致

U16サッカー日本代表チームの合宿誘致

【生涯学習部 スポーツ課】

3. スポーツ施設の充実

(1) 帯広の森運動施設の整備

屋内スピードスケート場の整備実現に向け、基本調査を行った。

帯広の森運動公園内の電気設備及び給排水設備の改修に向けて調査を行った。

【生涯学習部 スポーツ課】

(2) 各種スポーツ施設の整備

各施設の適切な維持補修に努めた。

【生涯学習部 スポーツ課】

(3) 学校施設の地域開放

地域住民等が行うスポーツ及びレクリエーション活動のために屋内、屋外運動場及び光南小学校屋内温水プールの開放事業を行った。

小学校25校 中学校3校 計28校 登録団体302団体 登録者数5,776人

延利用者数 屋内・屋外運動場 188,346人 光南小学校温水プール 11,343人

【生涯学習部 スポーツ課】

第5章 広域連携都市

第1節 総合交通体系

1. 都市内道路交通網の整備

(1) 駐車場の設置促進

全ての市営駐車場で最初の30分の料金を無料としているほか、中央・駅北地下駐車場の定期駐車料金を月1万円として、利用促進を図った。

また、駅南・中央第2駐車場では24時間入出庫可能にして、利便性を高めた。

市営駐車場の利用状況

区 分		利用台数(台)	1日当たり利用台数(台)	回転数(回転)
中 央	時間駐車	10,183	28	0.07
	定期駐車	92,084	252	0.62
	小 計	102,267	280	0.69
中央第2	時間駐車	82,661	226	3.77
駅 南	時間駐車	114,793	315	12.58
駅北地下	時間駐車	107,622	295	1.47
	定期駐車	31,823	87	0.44
	小 計	139,445	382	1.91
合 計		439,166	1,203	-

【商工観光部 商業課】

2. 空港の整備

(1) 滑走路などの整備

○エプロン改良、航空灯火並びに電源設備改良の実施

- ・エプロン改良(LA-1) 13,700㎡
- ・誘導路灯火改良 一式
- ・エプロン灯改良 5基
- ・電源設備改良 一式

【商工観光部 空港事務所】

(2) 駐車場の整備

○利用状況を予測し、整備計画の協議を行った。

【商工観光部 空港事務所】

(3) 消防・除雪体制の整備

○化学消防車(12,500級)1台を増車した。

【商工観光部 空港事務所】

3. 航空路線網の充実

(1) 新規航空路線の開設

○国内主要地域との路線開設に係る可能性調査を行った。

【商工観光部 空港事務所】

(2) 航空路線網の充実

○航空会社に対し、東京線は現行の4便体制の維持(JAL)及びダブルトラッキング実現(ANA及びAIR DO)、大阪線は2便体制の実現、名古屋線は2便体制の実現と団体客への対応可能な機材就航等の要望活動を行った。

【商工観光部 空港事務所】

(3) 空港利用の促進

- 平成16年度も引き続き着陸料の3分の1を軽減した。
- 国内外チャーター便着陸料は2分の1の減額措置を行なった。
- 空港利用拡大方策について関係機関と協議を行った。
- 空港利用状況

・運航便及び乗降客数

定期便(東京便)		定期便(大阪便)		定期便(名古屋便)		定期便(函館便)	
乗降客数	搭乗率	乗降客数	搭乗率	乗降客数	搭乗率	乗降客数	搭乗率
520,551	61.9%	73,797	61.9%	22,393	63.3%	343	26.8%
定期便全体		チャーター便		ダイバート・臨時便		合計	
就航率	搭乗率	乗降客数	便数	乗降客数	便数		
98.2%	61.9%	43,691	281便	1,304	9便	662,079	

・航空貨物及び航空郵便取扱量

貨物(kg)			郵便(kg)		
積	卸	計	積	卸	計
4,157,701	2,830,917	6,988,618	549,395	2,401,325	2,950,720

○着陸回数

定期便	チャーター便	臨時便・ ダイバート便	民間機	国有機	合計
2,191便	146便	9便	344便	4,091便	6,781便

【商工観光部 空港事務所】

(4) 地域航空ネットワークの形成

3月13日に帯広 - 函館線が新規開設した。

1日2往復 (株)エアトランセ 使用機材 B1900D 18人乗り

【商工観光部 空港事務所】

4. 帯広空港の国際化の環境整備

(1) 出入国管理・検疫施設の誘致

道内関係機関と連携し、国に対して整備拡充を図る要望活動を実施した。

【商工観光部 空港事務所】

(2) 国際化の可能性調査

国際チャーター便の定期的就航を図るため、観光機関と連携した海外観光客誘致活動を実施し、国際空港化への環境整備に取り組んだ。

【商工観光部 空港事務所】

(3) 国際チャーター便の促進

海外客による国際チャーター便265便と、邦人による国際チャーター便8便が就航した。

空港内に通訳を配置し、海外旅行客に対し、宿泊・観光・飲食関係の案内と出入国のケアを行った。

【商工観光部 空港事務所】

5. バス交通網の充実

(1) バス路線網の充実

路線バスの運行維持を図るため、国・道と共にバス事業者に対して路線運行維持費を補助した。

- ・補助対象バス事業者数 2社 補助対象路線数 27系統

【商工観光部 商業課】

(2) 公共交通機関のあり方

本市における新しいバスサービスの導入を目指し、実証運行、調査等を行った。

- ・市街地におけるフレックスバスの実証運行
- ・川西地区における新生活交通システム導入に向けた調査の実施
- ・大正地区における乗合タクシーの本格運行

【商工観光部 商業課】

第2節 広域連携

1. 中核都市圏の振興

(1) 中核都市圏の振興

音更町、芽室町、幕別町とともに帯広圏地方拠点都市地域基本計画の推進と関連事業の円滑な推進に努めた。

【企画部 企画課】

2. 十勝圏の振興

(1) 第2次十勝ふるさと市町村圏計画の推進

十勝圏複合事務組合との連携を図りながら、地域プロジェクトの取組など広域行政の推進に努めた。また、十勝圏活性化推進期成会を通じ、関係町村とともに関係機関等に諸課題の実現を働きかけた。

【企画部 企画課】

第3節 国内交流

1. 姉妹都市交流の推進

(1) 姉妹都市交流の推進

開拓姉妹都市の静岡県松崎町、観光文化姉妹都市の大分市、産業文化姉妹都市の徳島市と行政のみならず文化、物産、児童・生徒交流など、市民レベルでの幅広い交流を行った。

【企画部 国際交流課、商工観光部 観光課、生涯学習部 女性青少年課】

第4節 国際交流・国際協力

1. 国際交流の推進

(1) 国際交流の環境づくり

小学校等への国際交流員の派遣、小中学生を対象とした国際理解促進事業の実施、幼児対象の絵本読み語り事業など、学校や地域において諸外国の方々との交流機会を拡充するなど、国際交流の環境づくりに努めた。

・国際交流員の派遣	53回	延派遣者数	99人
・絵本の読み語り事業	10回	延参加者数	591人

【企画部 国際交流課】

(2) 都市間交流の推進

国際姉妹都市米国スワード市、国際友好都市中国朝陽市の両市と高校生相互派遣事業を実施し、相互交流の促進に努めた。

・スワード市	派遣高校生数	帯広市より3人、スワード市より2人
・朝陽市	派遣高校生数	帯広市より2人、朝陽市より3人

【企画部 国際交流課】

2. 国際協力の推進

(1) 農業技術協力の推進

帯広国際センターを中心に、帯広畜産大学、国立並びに道立試験研究機関、企業などと連携し、農業技術や地域技術を生かした国際協力・技術協力の促進に努めた。また、国際友好都市中国朝陽市から農業研修生を受入れた。

・JICA研修員受入	152人
・中国朝陽市農業研修生受入	4人
・中国朝陽市短期専門家派遣	3人

【企画部 国際交流課】

3. 国際化の環境づくり

(1) 外国人が暮らしやすい環境づくり

在住外国人のための外国語情報紙の発行や在住外国人の生活相談など、外国人が暮らしやすい環境づくりに努めた。

【企画部 国際交流課】

(2) 留学生の受け入れの促進

帯広市在住の留学生で組織する「外国人留学生まちづくりを考える会」と連携し、国際交流活動の企画、市民との交流機会の拡充を図るとともに、地域住民としてまちづくりに対する提言を受けた。

【企画部 国際交流課】

(3) ネットワーク化の推進

十勝地域において国際化推進事業を展開している十勝インターナショナル協会と連携し、「世界の友達」「国際フェスタ in 十勝」などの事業を実施し、国際協力・国際交流の推進や国際感覚の優れた市民の育成などに努めたほか、市町村間や様々な団体とのネットワークづくりを推進した。

【企画部 国際交流課】

第5節 情報化

1. 行政の情報化

(1) 行政情報システムの充実

行政サービス向上及び行政情報の職員間の共有化を図るため、端末機を105台増設した。

(デスクワーク職員一人一台化事業の推進)

地域の教育・行政・保健・福祉・防災等の高度な情報化施策に必要な情報通信基盤として、庁内LANを含む公共施設間(本庁舎・消防庁舎間)の超高速・大容量のネットワークの整備を行った。

平成15年度に策定した情報セキュリティポリシーの浸透、普及、定着を図るため、運用手順書を作成し全職員を対象とした研修を行った。

【総務部 情報システム課】

第6章 市民自治と自治体経営

第1節 市民自治と自治体経営

1. 情報の公開・提供

(1) 情報公開の推進

情報公開条例により、情報の公開を推進した。

- ・情報公開請求件数 38件
- ・決定内訳 開示 37件 非開示 1件（内不存在 1件）

【総務部 庶務課】

(2) 個人情報・プライバシーの保護

個人情報保護条例の適正な運用に努めた。また、本人に対し個人情報を開示した。

- ・個人情報開示請求件数 4件
- ・決定内訳 全件開示

【総務部 庶務課】

2. 広報活動の充実

(1) 広報の充実

市民が必要としている情報や市の施策・方針などを広く周知し理解と協力を得るため、広報紙本来の見やすさ、読みやすさなど市民の視点にたった編集作業を行い、広報おびひろを年12回発行し、市民に配布した。

市勢要覧を作成し、市外へのPRに努めた。

【企画部 広報課】

(2) 情報メディアを活用した情報提供

テレビ、ラジオ、市のホームページなどを活用し、行政の情報を広く周知した。

【企画部 広報課】

3. 広聴活動の充実

(1) 幅広い広聴活動の推進

市民の声

陳情・要望		市長への手紙		電話・来庁・Eメール等		市長とふれあいトーク	
件数	項目数	通数	項目数	件数	項目数	回数	項目数
146件	365件	272通	383件	40件	61件	11回	33件

市民相談件数

一般相談	特別相談	行政相談	合計
2,392件	723件	159件	3,274件

【企画部 住民活動課】

4. 市民参画のしくみづくり

(1) 市民と協働のまちづくり

協働を推進するためのマニュアルを作成したほか、市の重要な施策となる条例や計画等に広く市民の意見を反映するためパブリックコメント制度を導入した。

【企画部 住民活動課】

5. 平和と人権

(1) 平和事業の推進

平和の絵募集と平和カレンダーの作成
「語り継ぐ核兵器廃絶・平和展」の開催
平和コンサートの実施

【企画部 住民活動課】

6. 計画的、総合的な施策推進

(1) 計画行政の推進

「選択と集中」を基本的な考え方として、「ソフト重視」「成果重視」「市民協働重視」の3つの視点で、第五期総合計画後期推進計画を策定した。

【企画部 企画課】

(2) 行政サービスの向上

ISO9001の認証登録を継続した。

【総務部 行財政改革推進事務局】

7. 行財政改革の推進

(1) 事務事業の見直し

個別の事務事業について引き続き見直しを行った。
638件の事務事業評価を行った。

【総務部 行財政改革推進事務局】

(2) 民間活力の活用 (3) 職員定数の適正化

学校給食共同調理場の業務見直しなど、25名の職員を減員した。

【総務部 行財政改革推進事務局】

(4) 財政の健全化

情報公開・説明責任の立場及び行財政改革について市民理解の促進のため「帯広市の台所事情」を作成し、説明会の開催等、財政情報の積極的な公開に努めた。

- ・「帯広市の台所事情」説明会の開催 29回 延参加者数740人 資料送付102団体
- ・財政事情の公表 2回(6月、12月)
- ・予算、決算状況等の広報おびひろ、北の暮らし情報システム等による公開
- ・南商業高校3年生に対する台所事情と税のしくみについての出前授業を実施

【財政部 財政課】

小中学生を対象とした租税教育を帯広税務署と連携し実施した。

【財政部 市民税課】

収納率向上対策及び納税者の利便性の向上のために、公営住宅使用料等に加え、市税、国民健康保険料についてもコンビニエンスストアでの収納を開始した。また、取扱店舗も拡大した。

【財政部 納税課・市民部 国保課・都市開発部 住宅課】

8. 地方分権への対応

(1) 地方自治の確立

中札内村と法定合併協議会を設置し、新市建設計画を作成したほか、事務事業の一元化等に関する協議を行い、その結果を概要版として取りまとめ全戸配布した。

また、協議内容等について、広報おびひろ、ホームページ、説明会等を通じ、市民への積極的な情報提供に努めた。

【企画部 企画課】

第2節 コミュニティの形成

1. コミュニティ活動の促進

(1) コミュニティ意識の醸成

町内会自治活動費の交付

【企画部 住民活動課】

(2) 特定非営利活動（NPO活動）の促進

帯広市内のNPO法人認証団体数 26団体（平成17年3月31日現在）

【企画部 住民活動課】

2. コミュニティの整備

(1) コミュニティ施設の整備

施設の移転改築

施設名 南町福祉センター（稲田児童保育センター併設）

所在地 帯広市西15条南36丁目1番1号

規模 鉄筋コンクリート平屋建 654.34㎡

敷地 2,160.35㎡

施設の改修

- ・駐車場改修工事 2ヶ所
- ・屋根塗装工事 2ヶ所
- ・トイレ改修工事 1ヶ所

【企画部 住民活動課】

